



ユーザーガイド

Amazon WorkSpaces シンククライアント



Amazon WorkSpaces シンククライアント: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標とトレードドレスは、Amazon 以外の製品またはサービスとの関連において、顧客に混乱を招いたり、Amazon の名誉または信用を毀損するような方法で使用することはできません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

Amazon WorkSpaces シンククライアントとは	1
WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報	1
WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング (EUC) サービスへのアクセス	1
WorkSpaces シンククライアントについて知る	2
WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。	2
WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応	4
WorkSpaces シンククライアントデバイスの前面	5
WorkSpaces シンククライアントデバイスのバック	5
USB ハブ	6
WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する	6
オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する	9
WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました	10
Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ	12
言語を選択してください。	12
キーボードタイプを特定します。	13
キーボードレイアウト	16
ローカルネットワークへの接続	19
アクティベーションコードを入力する	20
AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする	22
デバイスの使用	24
仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用	24
マイクとウェブカメラを有効にする	24
VDI でのマイクとウェブカメラのアクセス許可の有効化	26
ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化	30
WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更	32
仮想デスクトップからボリュームレベルを設定する	32
WorkSpaces シンククライアントのデフォルトボリュームの変更	33
WorkSpaces シンククライアントでのミュートの使用	37
WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動	37
ツールバーを使用して再起動する	37
手動再起動	38
スリープタイマーの設定	38
デバイスの仕様	40

WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様	40
USB ハブの仕様	41
サポートされている周辺機器	41
トラブルシューティング	44
WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング	44
周辺機器は認識されません	44
WorkSpaces シンククライアントワークスペースにアクセスできない	44
ヘッドセットの音量が非常に小さいか、聞こえない	45
音声ビデオの電話会議中に音声がひびやかしくなる	45
WorkSpaces シンククライアントの既知の問題	46
VDI ログイン画面でリンクを選択した場合は、ログイン画面に戻る必要があります。	46
キーボードショートカットを使用すると、予期しない動作が発生する可能性があります。	46
一部の周辺機器は、デバイスの実行中に認識されない場合があります。	44
設定からイーサネットネットワークの IP アドレスを表示することはできません。	47
VDI ツールバーの一部のメニューオプションは表示されますが、機能しません。	47
サポートされているキーボードレイアウトが OOBЕ または 設定で見つからない。	47
デバイス設定でサポートされているキーボードレイアウトを選択できますが、仮想セッション内に特定のキーを入力することはできません。	47
ツールバーを初めて選択すると、ツールバーが展開または折りたたまれません。	48
スリープ状態から目覚めると、WorkSpaces Thin Client デバイスはセッションを開始する前にキーボードとマウスのセットアップ画面を数秒間表示します。	48
WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動時に、エンドユーザーはセッションを開始する前に、繰り返し準備中と更新の確認の移行画面が表示されます。	49
WorkSpaces シンククライアントデバイスの更新は有効になっていません。	49
ウェブカメラは 有効になっておらず WorkSpaces、上部のツールバーのアイコンは灰色のままです。	49
仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング	49
ドキュメント履歴	50
.....	li

Amazon WorkSpaces シンククライアントとは

WorkSpaces シンククライアントは、完全なクラウドデスクトップソリューションを提供するために AWS、エンドユーザーコンピューティング (EUC) 仮想デスクトップと連携するように構築されたコスト効率の高いシンククライアントデバイスです。WorkSpaces シンククライアントは、キーボード、マウス、ヘッドセット、ウェブカメラなど、2 台のモニターと複数の USB デバイスを接続するように設計されたコンパクトなデバイスです。エンドポイントのセキュリティを最大化するために、WorkSpaces Thin Client デバイスはローカルデータストレージや未承認アプリケーションのインストールを許可しません。WorkSpaces シンククライアントデバイスには、デバイス管理ソフトウェアがプリロードされています。

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報](#)
- [WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング \(EUC\) サービスへのアクセス](#)

WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報

WorkSpaces シンククライアントを初めて使用する場合は、まず以下のセクションを読むことをお勧めします。

- [WorkSpaces シンククライアントについて知る](#)
- [Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ](#)
- [デバイスの仕様](#)

WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング (EUC) サービスへのアクセス

WorkSpaces シンククライアントを介して Amazon WorkSpaces、Amazon WorkSpaces Secure Browser、または AppStream 2.0 のいずれかにアクセスし、アプリケーションとデータをクラウドに保持して、セキュリティを強化し、一元管理することができます。

WorkSpaces シンククライアントデバイスについて理解する

WorkSpaces シンククライアントを使用すると、AWS エンドユーザーコンピューティング仮想デスクトップを通じて、関連するアプリケーションやデータに瞬時に安全にアクセスできます。WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用を開始するには、キーボード、マウス、モニターを使用して設定し、ネットワークに接続します。

では、始めましょう。

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する](#)
- [オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。

WorkSpaces シンククライアントを使用するには、以下が必要です。

Note

この機器を受け取ったはずですが、このリストで足りないものがある場合は、管理者に問い合わせてください。

提供されている機器

- WorkSpaces 1 つの USB-A ポート、1 つの HDMI-Out ポート、1 つのイーサネットポートを備えたシンククライアントデバイス





必要な機器 (提供されていない場合もあります)

- USB-A 入力をサポートする USB ハブ - デバイスに接続します
- キーボード - USB ハブに接続します
- マウス - USB ハブに接続します
- モニタリング - WorkSpaces シンククライアントデバイスの HDMI-Out ポートに接続します

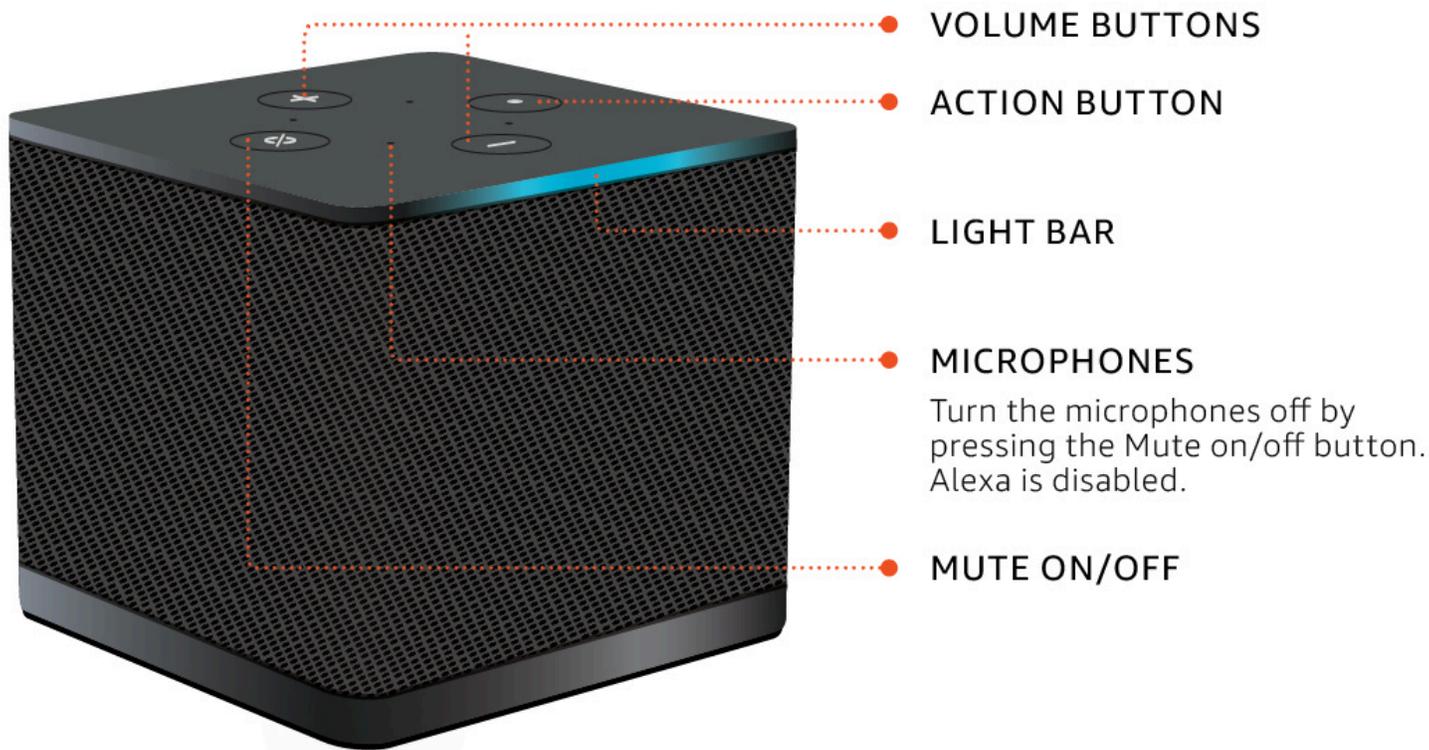
オプション機器 (付属していません)

- 2 番目のモニター - USB ハブの HDMI-Out ポートに接続します
- ウェブカメラ - USB ハブに接続します
- ヘッドセット - USB ハブに接続します

WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応

ようこそ！これは WorkSpaces シンククライアントデバイスとその USB ハブです。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの前面

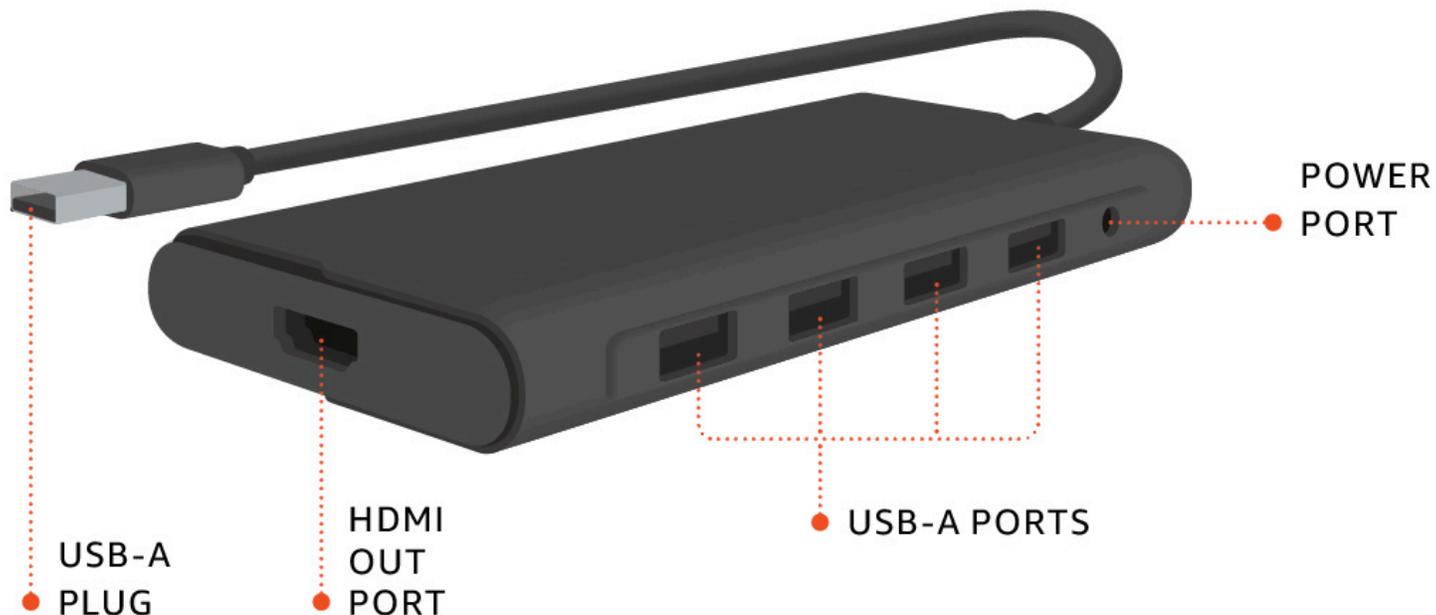


WorkSpaces シンククライアントデバイスのバック



後で、これらのポートを使用して他の周辺機器を接続します。

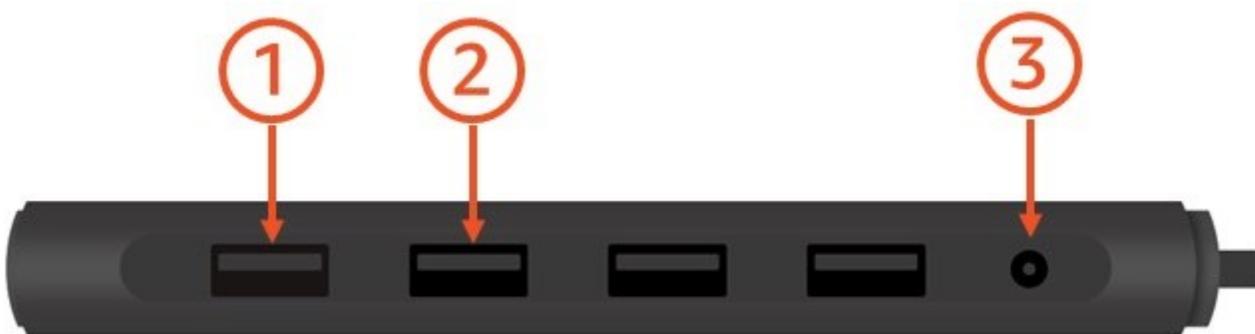
USB ハブ

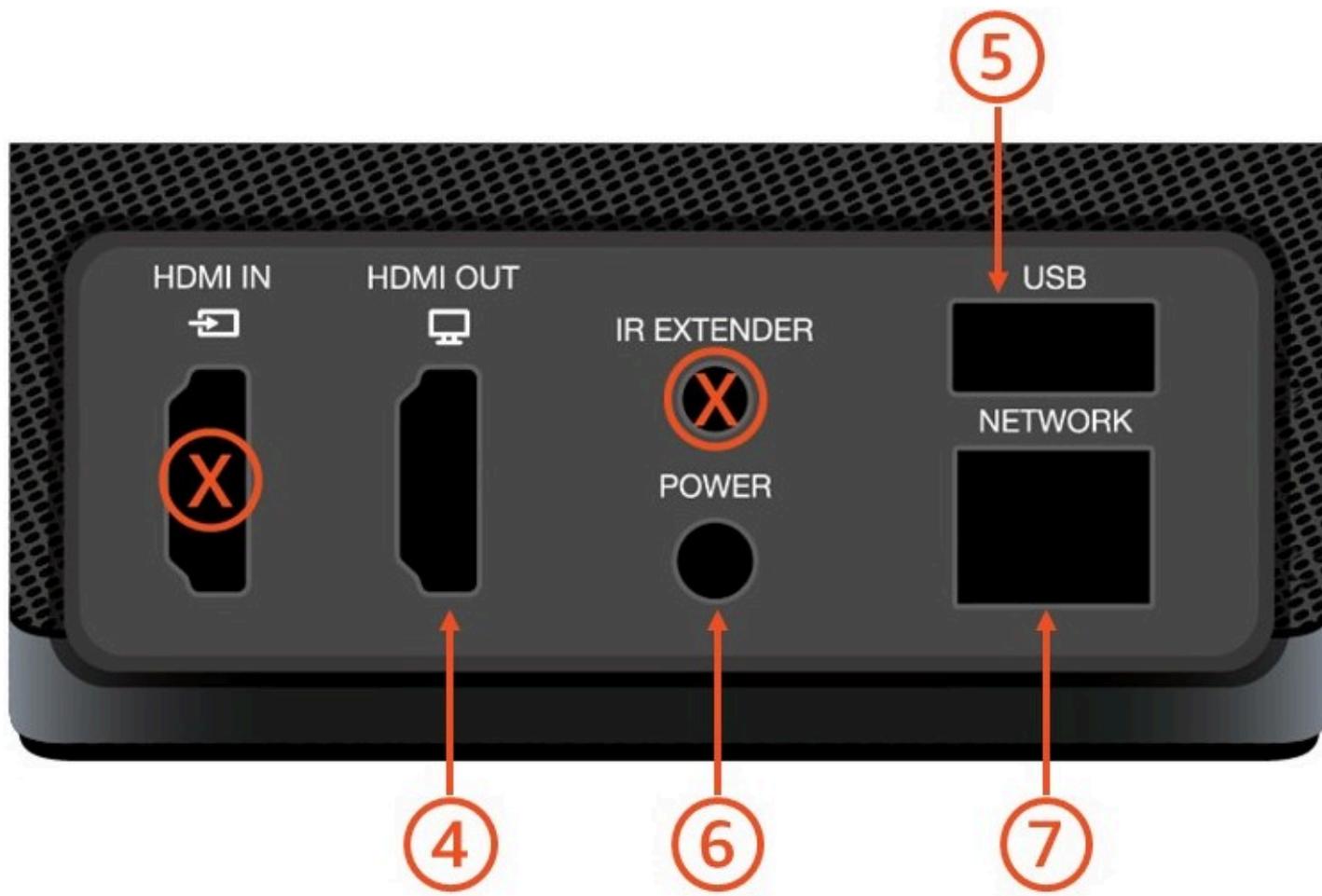


後で、これらのポートを使用して他の周辺機器を接続します。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する

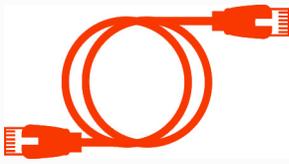
WorkSpaces シンククライアントデバイスを使用するには、キーボード、マウス、モニターが必要です。





番号	デバイス	手順
1		マウスをハブの USB-A ポートに接続します。
2		キーボードをハブの USB-A ポートに接続します。

番号	デバイス	手順
3		ハブの電源アダプターをハブの電源ポートに接続します。
4		モニターの HDMI ポートを HDMI ケーブル (付属していません) で WorkSpaces シンククライアントの HDMI-Out ポートに接続します。
5		ハブの USB-A プラグを WorkSpaces シンククライアントの USB ポートに接続します。
6		WorkSpaces シンククライアント電源アダプターを WorkSpace s シンククライアントの電源ポートに接続します。

番号	デバイス	手順
7	 A red Ethernet cable with RJ45 connectors on both ends, coiled in the center.	<p>(オプション) イーサネットケーブルに接続します。</p> <div data-bbox="1068 352 1507 856"><p>Note</p><p>ネットワーク接続が必要です。Wi-Fi の代わりに有線イーサネット接続をご希望の場合は、イーサネットケーブル (別売り) をネットワークポートに接続します。</p></div>

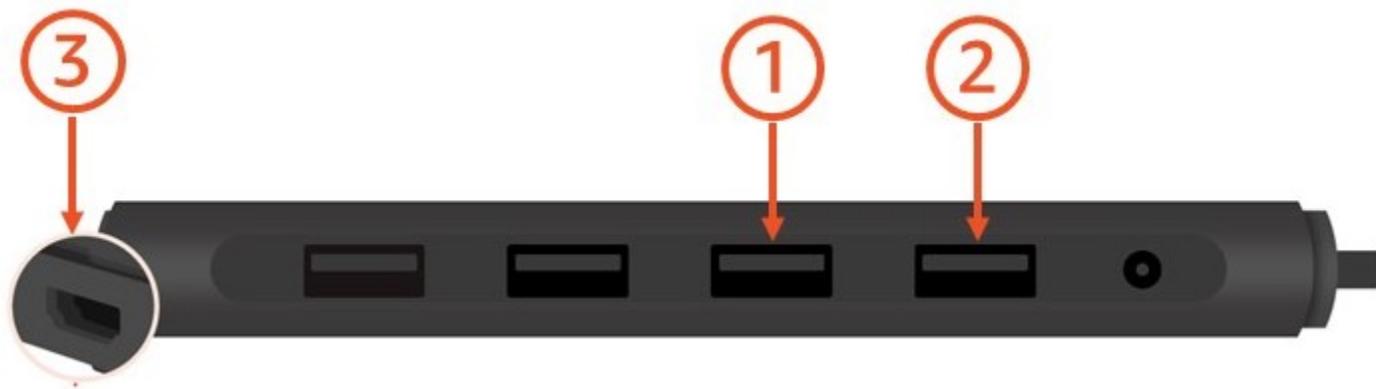
オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する

WorkSpaces シンククライアントデバイスをヘッドセット、カメラ、または 2 番目のモニターに接続することもできます。

Note

WorkSpaces シンククライアントデバイスの電源が入っている間は、どのバーコードも接続または切断しないでください。WorkSpaces シンククライアントデバイスは欠陥を認識しません。

WorkSpaces シンククライアントデバイスがオンになっているときに薬剤を切断する場合は、デバイスをオフにし、薬剤を再接続してから、デバイスを再度オンにします。



番号	デバイス	手順
1		ヘッドセットをハブの USB-A ポートに接続します。
2		ウェブカメラをハブの USB-A ポートに接続します。
3		2 台目のモニターを USB ハブの端にある HDMI ポートに接続します。2 台目のモニターの HDMI ポートを HDMI ケーブル (別売) でハブの端にある HDMI ポートに接続します。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました

すべての周辺機器を接続すると、WorkSpaces シンククライアントをオンにする準備が整います。

1. ハブ電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。
2. WorkSpaces シンククライアントの電源アダプタをコンセントに接続します。

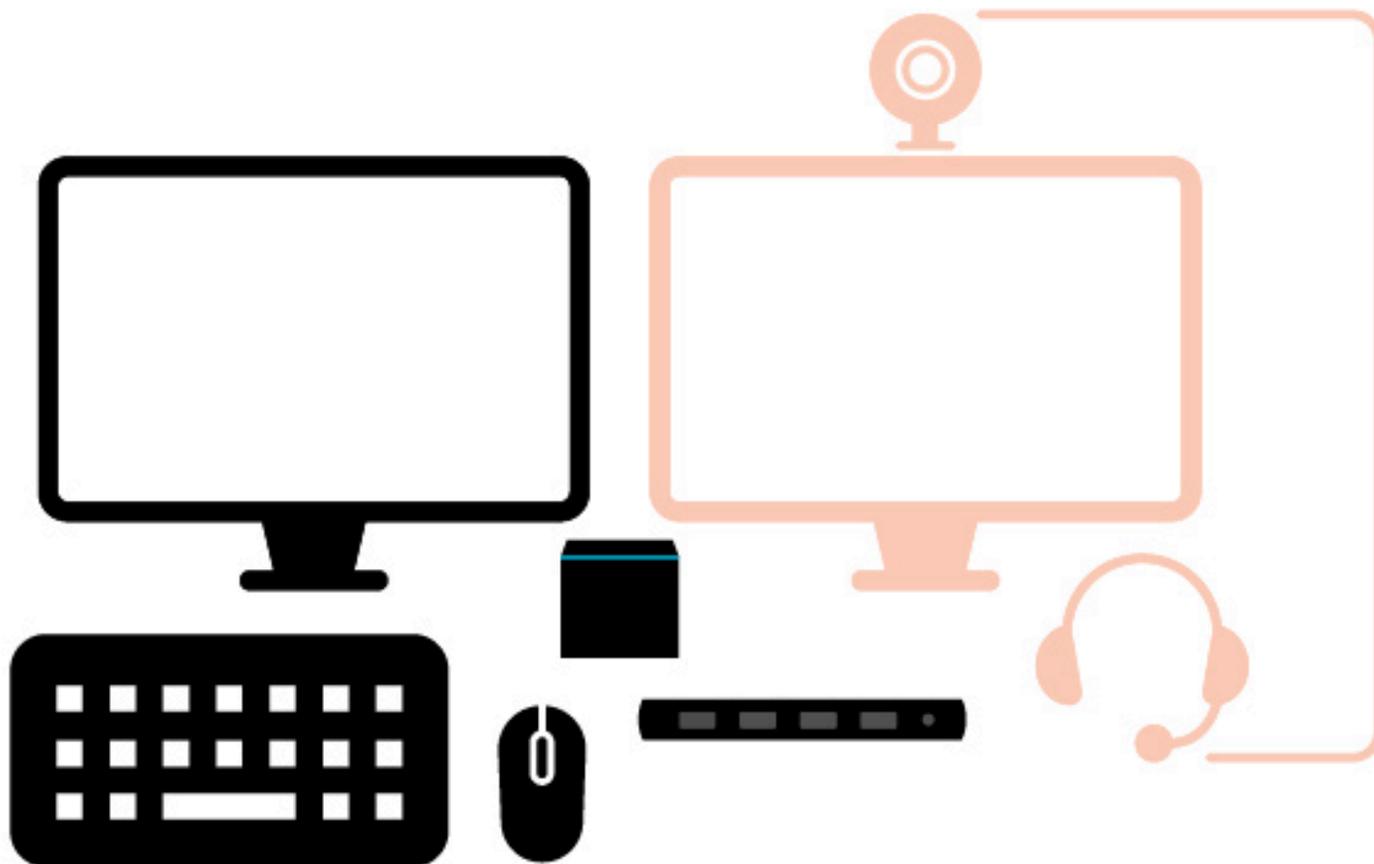
Note

Wi-Fi を使用してネットワークに接続する場合は、パスワードを準備します。

これで、WorkSpaces シンククライアントサービスをセットアップする準備ができました。[Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ](#) に移動します。

Note

2つのモニターを設定する場合は、プライマリモニターを左側に、セカンダリモニターを右側に配置する必要があります。



Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ

WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました。初めてオンにできるようになりました。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを初めてオンにする場合は、基本的なプロセスに従って新しいデバイスをサービスに接続できます。

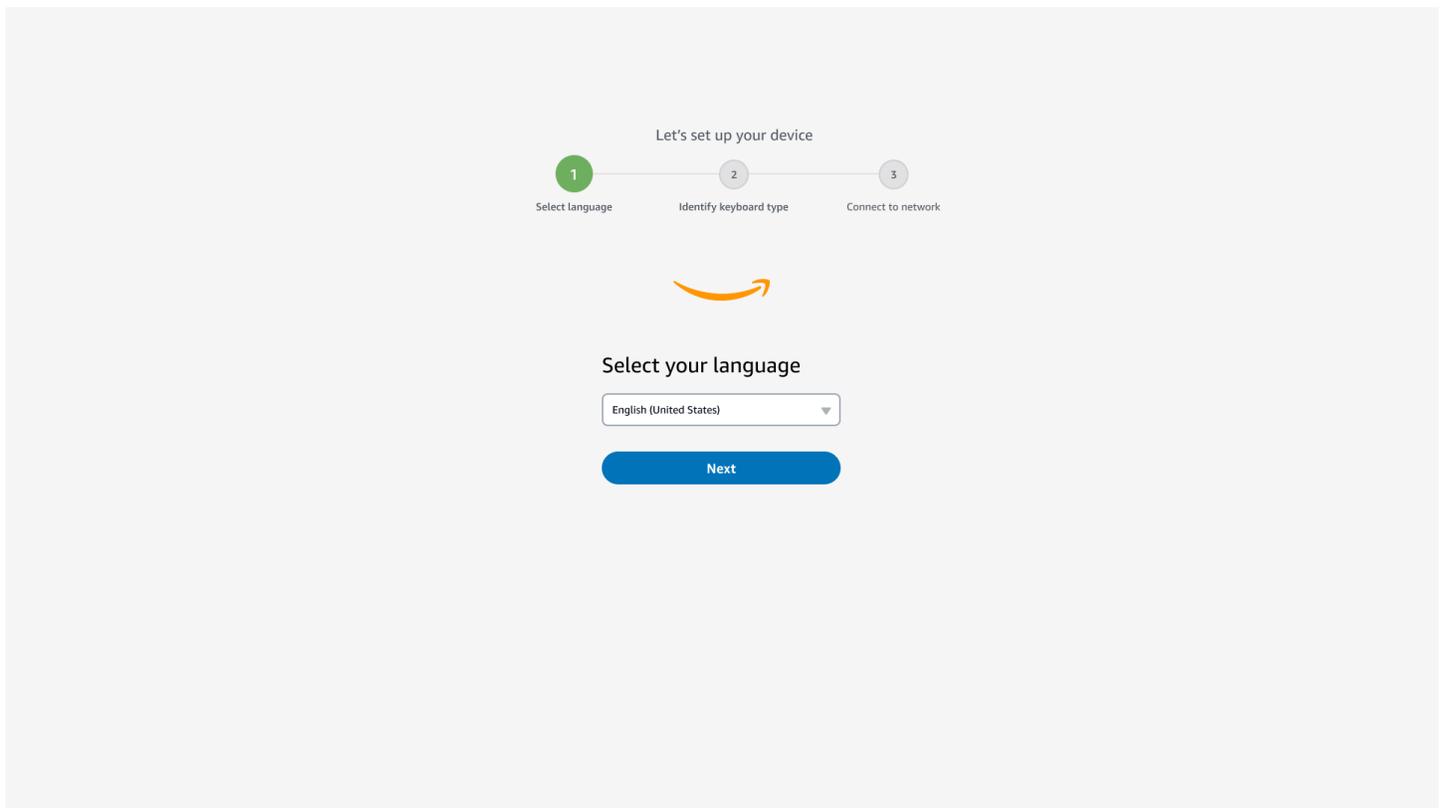
WorkSpaces シンククライアントデバイスがこのプロセスをガイドします。

トピック

- [言語を選択してください。](#)
- [キーボードタイプを特定します。](#)
- [ローカルネットワークへの接続](#)
- [アクティベーションコードを入力する](#)
- [AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする](#)

言語を選択してください。

WorkSpaces シンククライアントデバイスで使用する言語を選択します。

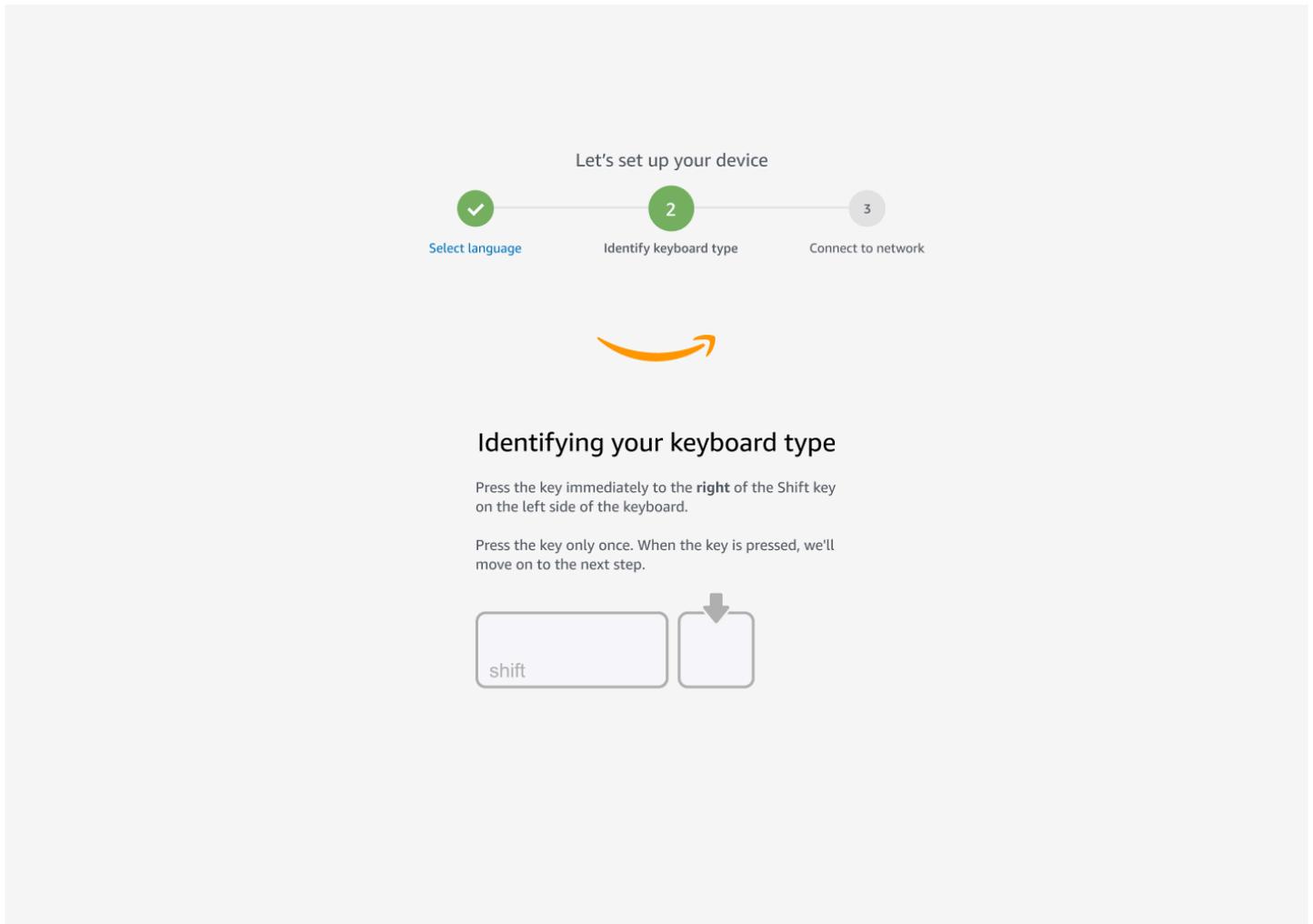


マウスを使用して言語を選択できます。

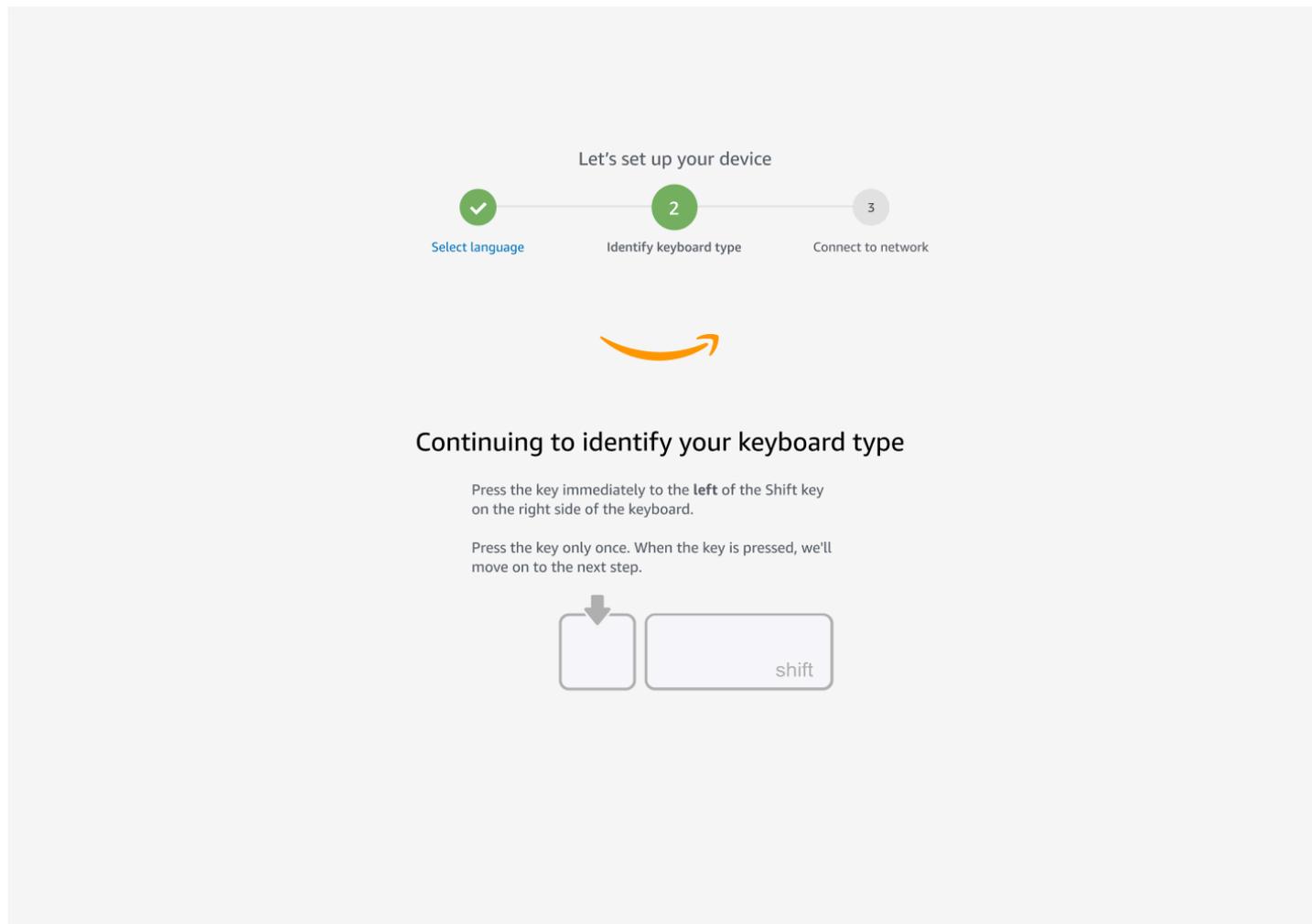
キーボードタイプを特定します。

次に、WorkSpaces シンククライアントデバイスにキーボードを識別するように指示します。

まず、キーボードの左側にあるキーのすぐ右にあるShiftキーを押したままにします。



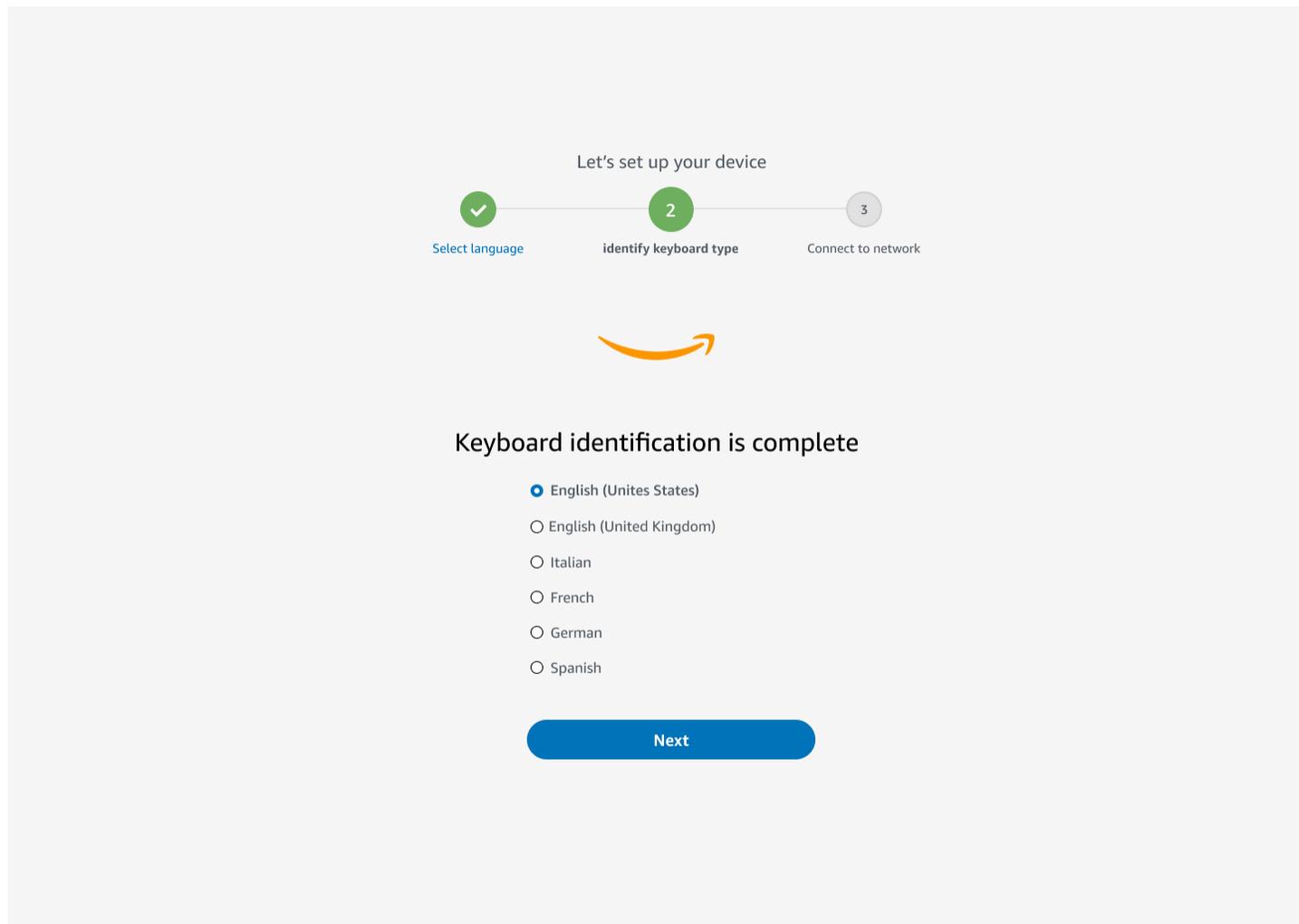
次に、キーボードの右側にあるキーのすぐ左にあるShiftキーを押したままにします。



素晴らしい！キーボードが識別されました。

次に、使用しているキーボードのタイプを WorkSpaces シンククライアントデバイスに指示します。
キーボードレイアウトを選択します。

キーボードレイアウトを確認するには、[「キーボードレイアウト」の「互換性のある各キーボードの例」](#)を参照してください。

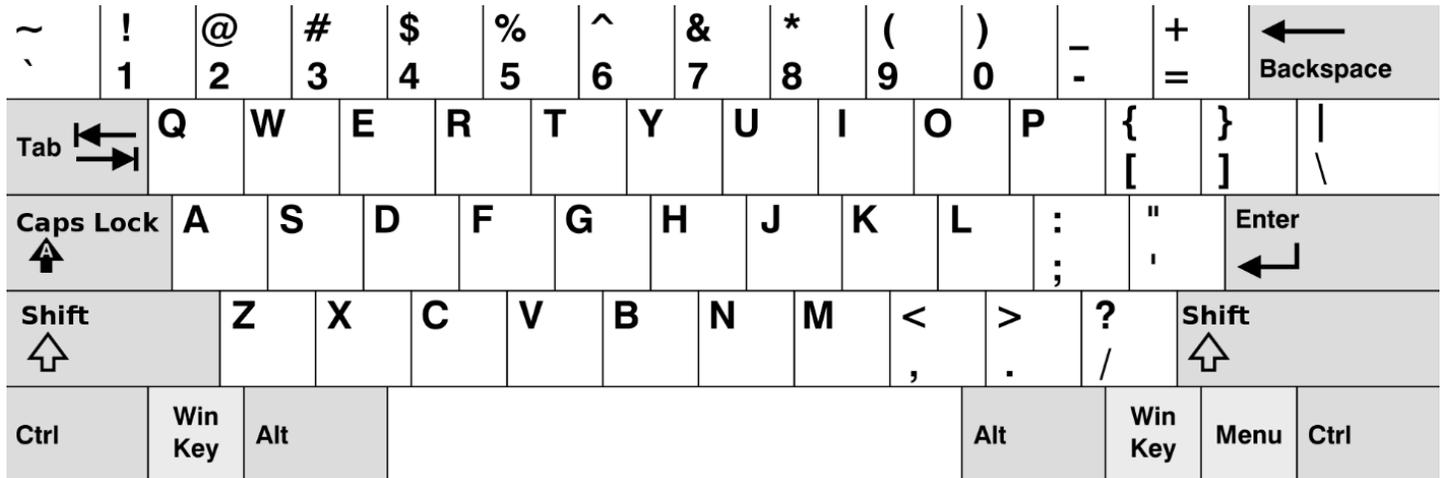


キーボードレイアウト

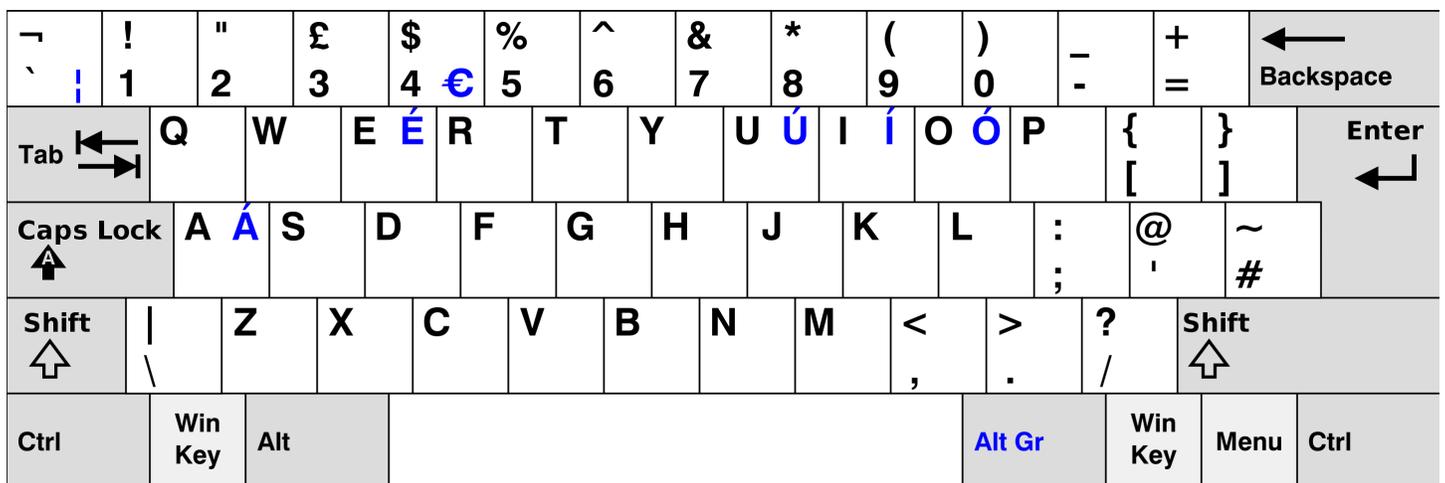
WorkSpaces シンククライアントは、英語 (米国)、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語のキーボードレイアウトをサポートしています。

WorkSpaces シンククライアントはAltGr、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語の および dead keyキーボードレイアウトをサポートしています。

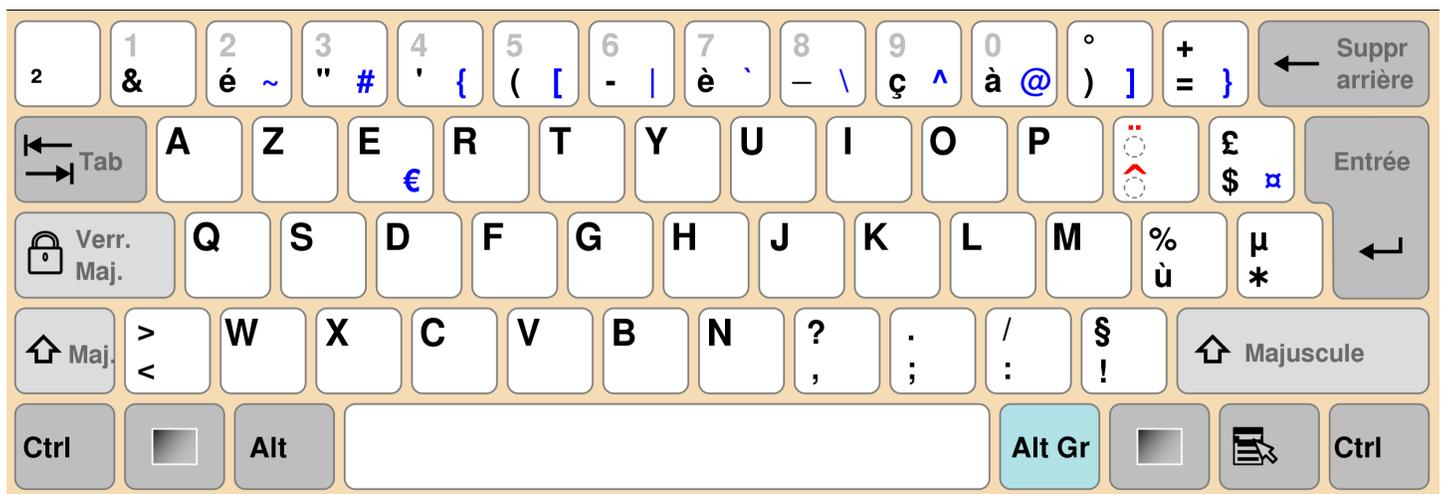
英語 (米国) キーボードレイアウト



英語 (英国) キーボードレイアウト



フランス語キーボードレイアウト



ドイツ語キーボードレイアウト

° ^	!	"	§ 3	\$ 4	% 5	& 6	/	(8)	=	? }	´	←
↔	Q @	W	E €	R	T	Z	U	I	O	P	Ü	* + ~	↵
⇩	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ö	Ä	' #	↵
⇧	> <	Y 	X	C	V	B	N	M µ	;	:	-	⇧	
Strg	(Win)	Alt							Alt Gr	(Win)	(Menu)	Strg	

スペイン語キーボードレイアウト

a o	!	"	.	\$	%	&	/	()	=	? '	¿ i	← Backspace
Tab ↔	Q 	W @	E #	R €	T	Y	U	I	O	P	^ [+]	*]	↵ Enter
Caps Lock ⇧	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ñ	" { }	Ç	
Shift ⇧	> <	Z	X	C	V	B	N	M	;	:	-	Shift ⇧	
Ctrl	Win Key	Alt							Alt Gr	Win Key	Menu	Ctrl	

イタリア語キーボードレイアウト

 \	!	"	£	\$	% €	&	/	()	=	? '	^ i	← Backspace
Tab ↔	Q	W	E €	R	T	Y	U	I	O	P	é è	* +]	↵ Enter
Caps Lock ⇧	A	S	D	F	G	H	J	K	L	ç	° @ à	§ # ù	
Shift ⇧	> <	Z	X	C	V	B	N	M	;	:	-	Shift ⇧	
Ctrl	Win Key	Alt							Alt Gr	Win Key	Menu	Ctrl	

ローカルネットワークへの接続

WorkSpaces シンククライアントデバイスをネットワークに接続できるようになりました。

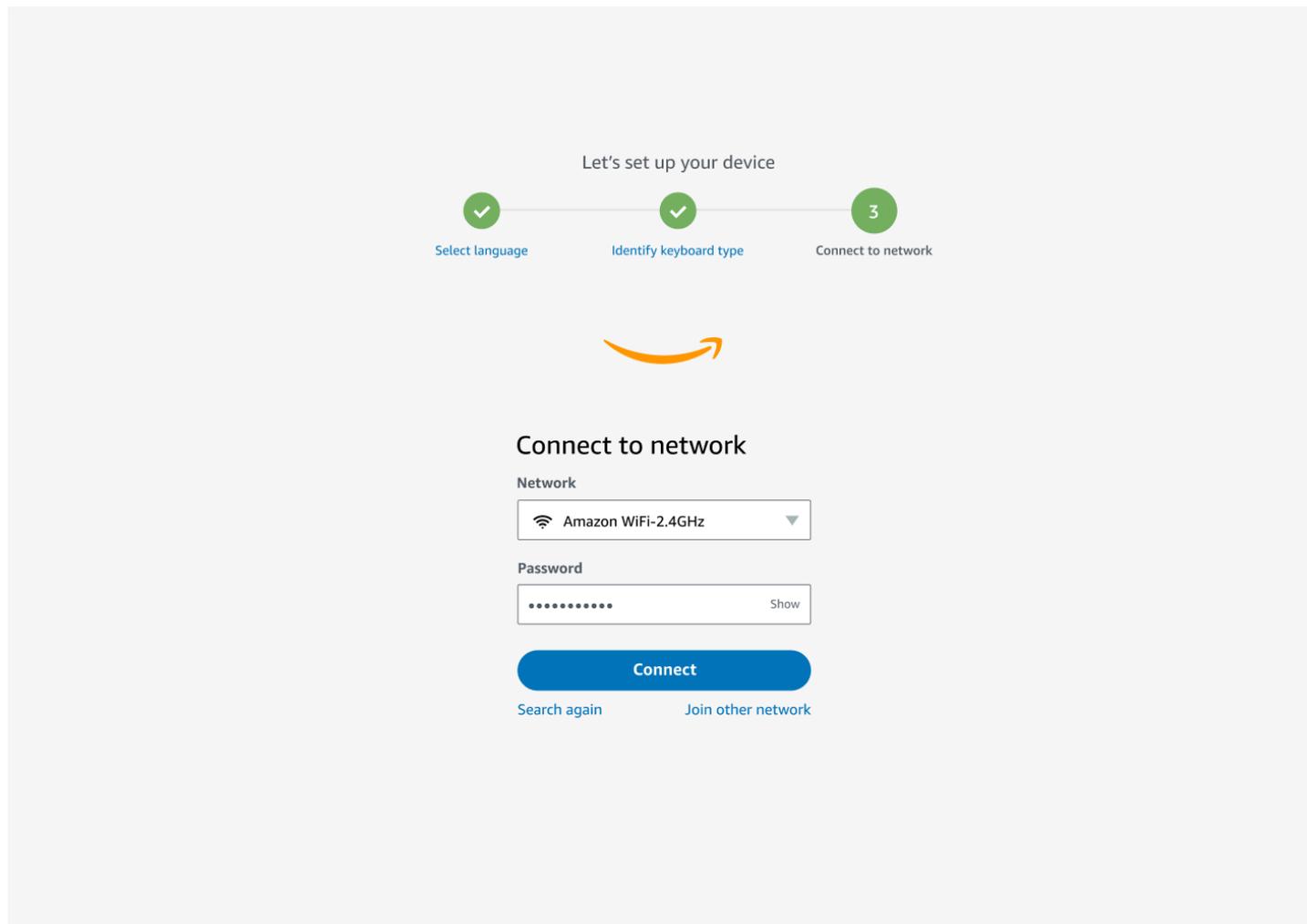
イーサネット接続を使用している場合、WorkSpaces シンククライアントデバイスはネットワークに自動的に接続します。これ以上、何もする必要はありません。

WorkSpaces シンククライアントデバイスがイーサネット経由で接続されていない場合、デバイスは利用可能なワイヤレスネットワークをスキャンし、ネットワークドロップダウンリストに表示されます。このドロップダウンリストからネットワークを選択します。

Note

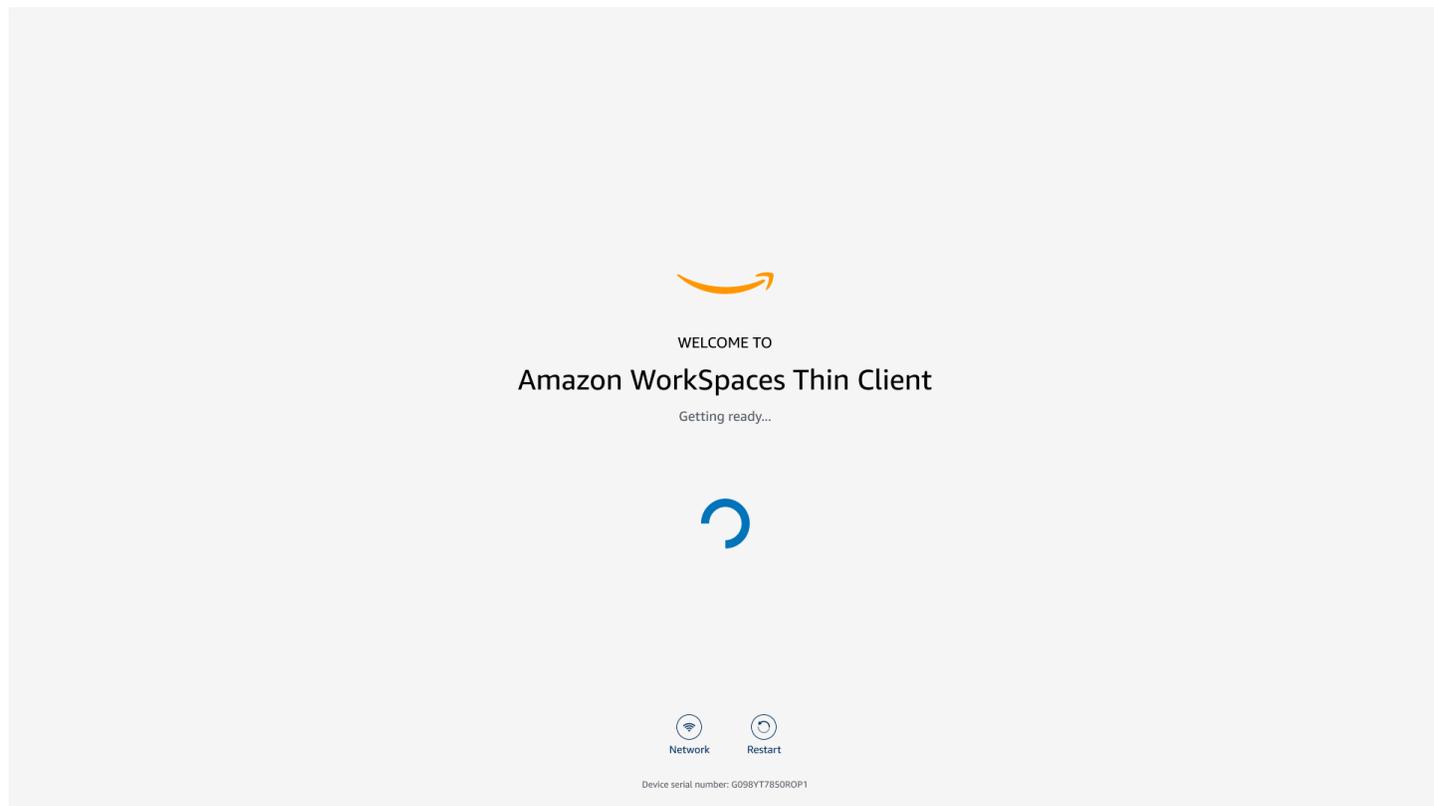
アクティブにできるネットワーク接続タイプは 1 つだけです。イーサネット接続を使用している場合、ワイヤレスネットワーク接続は使用できません。

[パスワード] フィールドにネットワークパスワードを入力します。

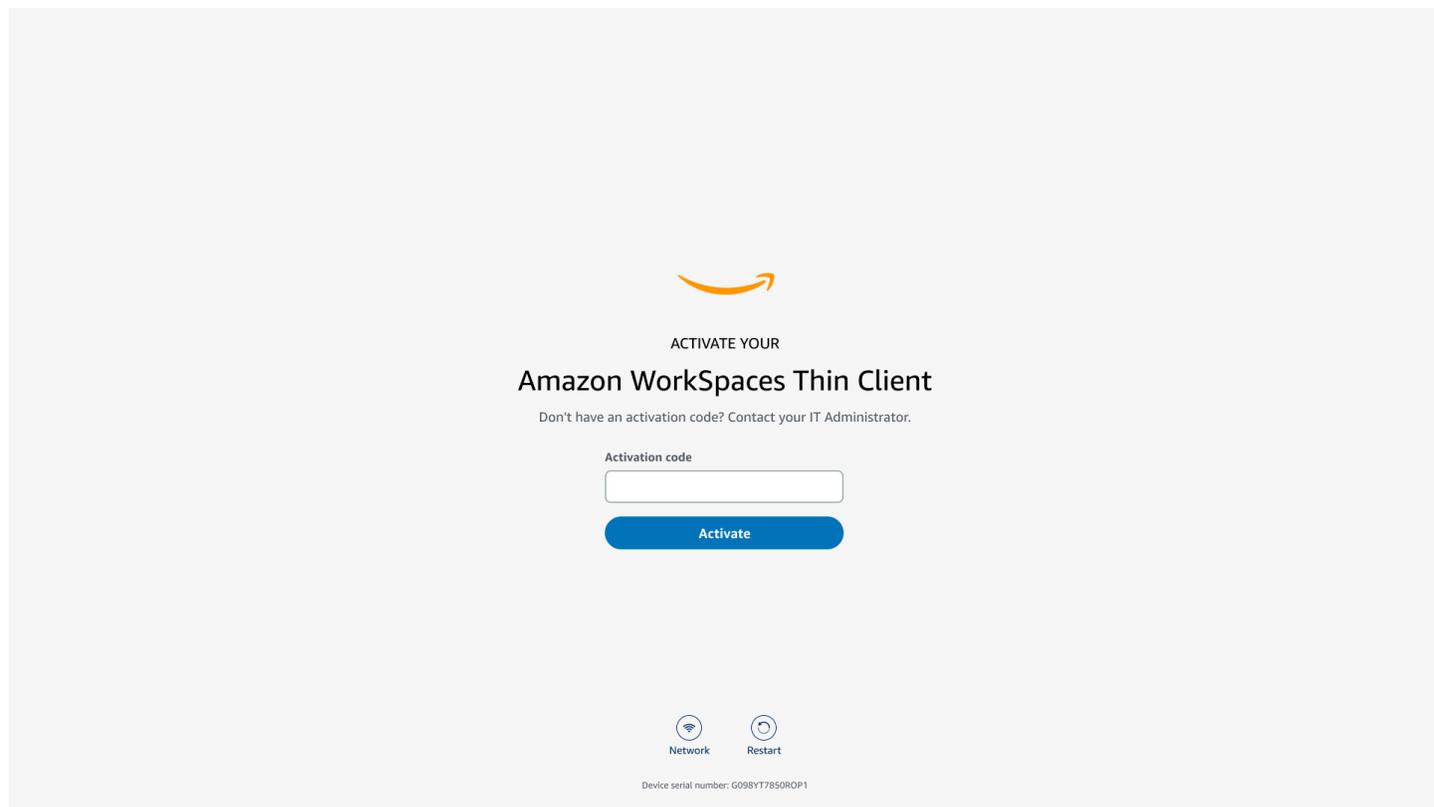


アクティベーションコードを入力する

これで、WorkSpaces シンククライアントデバイスがネットワークに接続されました。これで、管理者が設定した AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにデバイスを接続できます。



管理者から提供されたアクティベーションコードを入力します。



Note

アクティベーションコードは、管理者がデバイス専用の環境を作成するときに生成されます。詳細については、WorkSpaces シンククライアント管理者ガイドの「[環境の作成](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする

管理者によって確立された AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインします。

Support English ▾

amazon WorkSpaces

Fully managed remote desktop service

© 2008 - 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Sign in
Sign in to access your WorkSpaces

Sign in

[Change registration code](#)

aws Privacy | Site terms | Cookie preferences

Note

イメージには WorkSpaces (ウェブアクセス) が表示されます。サービスは、WorkSpaces (ウェブアクセス)、AppStream 2.0、または WorkSpaces Secure Browser のいずれかです。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用

WorkSpaces シンククライアントデバイスをセットアップして登録したら、使用する準備が整います。

Amazon WorkSpaces シンククライアントは、AWS エンドユーザーコンピューティング (EUC) 仮想デスクトップで動作するように構築されており、多数の[周辺機器と互換性があります](#)。

トピック

- [仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用](#)
- [マイクとウェブカメラを有効にする](#)
- [WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動](#)
- [スリープタイマーの設定](#)

仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用

WorkSpaces シンククライアントは、ウェブブラウザ内で実行される NICE DCV ウェブクライアントを使用するため、インストールは必要ありません。

NICE DCV の詳細については、「[NICE DCV の使用](#)」を参照してください。

Amazon WorkSpaces シンククライアントは、多数の仮想デスクトップと連携して、完全なクラウドデスクトップソリューションを提供します。各 VDI には、使用する独自のインターフェイスまたはツールバーがあります。

これらの各インターフェイスの詳細については、以下を参照してください。

- Amazon については、[WorkSpaces 「ウェブアクセス WorkSpaces」](#) を参照してください。
- AppStream 2.0 については、「[ウェブブラウザアクセス](#)」を参照してください。
- Amazon WorkSpaces Secure Browser については、「[ツールバーの使用](#)」を参照してください。

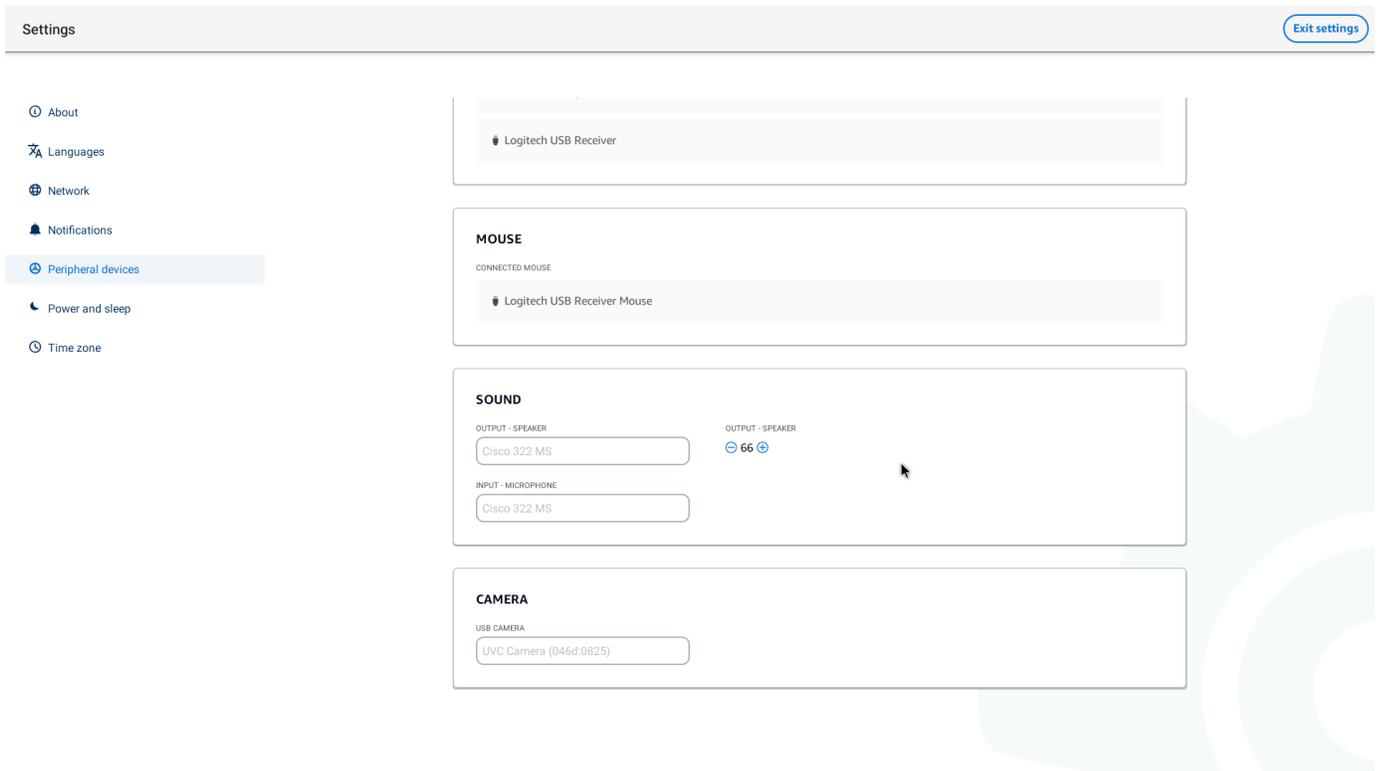
マイクとウェブカメラを有効にする

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、オーディオデバイスとビジュアルデバイスに接続できます。仮想デスクトップセッション内でマイクとウェブカメラを使用するには、Windows 設定、仮想デスクトップツールバー、ブラウザ設定でアクセス許可を有効にする必要があります。

WorkSpaces シンククライアントは、「[周辺機器](#)」セクションに記載されているウェブカメラやヘッドセットと互換性があります。

ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。

1. [設定](#) に移動します。
2. [周辺機器](#) を選択します。
3. ウェブカメラとマイクが一覧表示されていることを確認します。

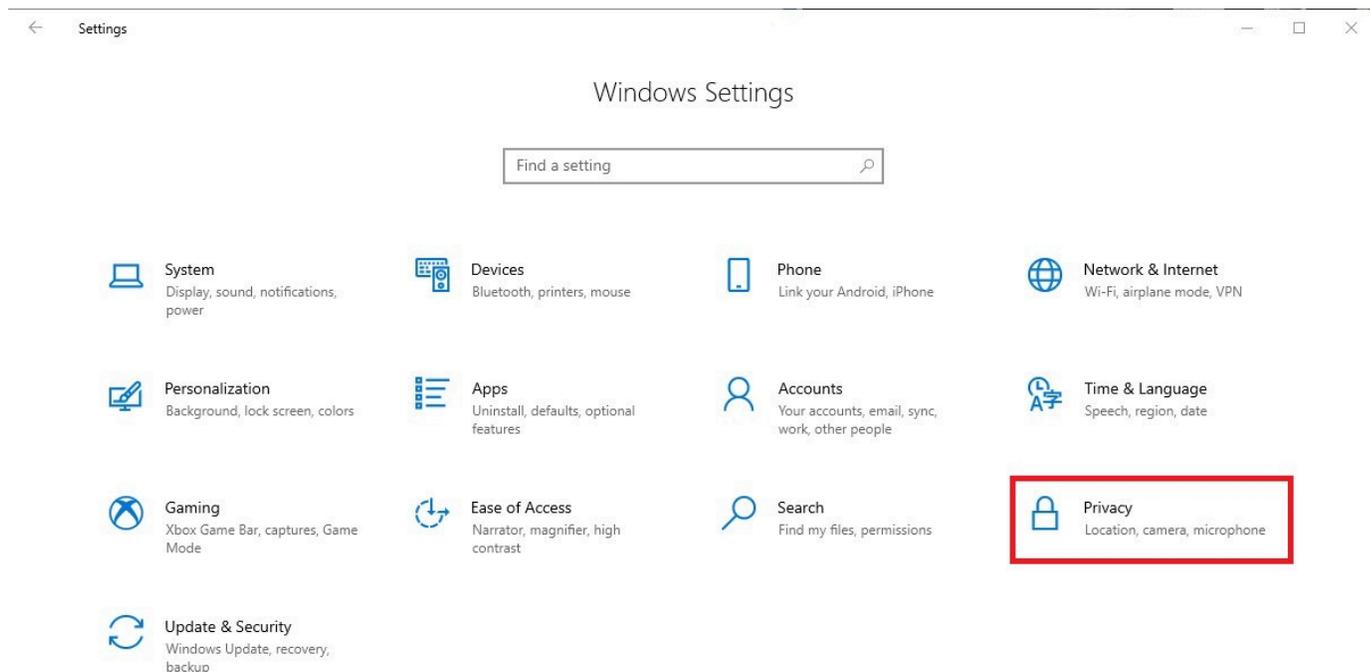


4. VDI でマイクとウェブカメラが有効になっていることを確認します。使用している VDI に応じて、次のいずれかを実行します。
 - Windows の場合は、[Windows でのアクセス許可の有効化](#)を使用します。
 - Amazon の場合は WorkSpaces、[Amazon でのアクセス許可 WorkSpaces](#)の有効化を使用します。
 - AppStream 2.0 または Amazon WorkSpaces Secure Browser の場合は、[AppStream 2.0 のアクセス許可の有効化と Amazon WorkSpaces Secure Browser](#)を使用します。

VDI でのマイクとウェブカメラのアクセス許可の有効化

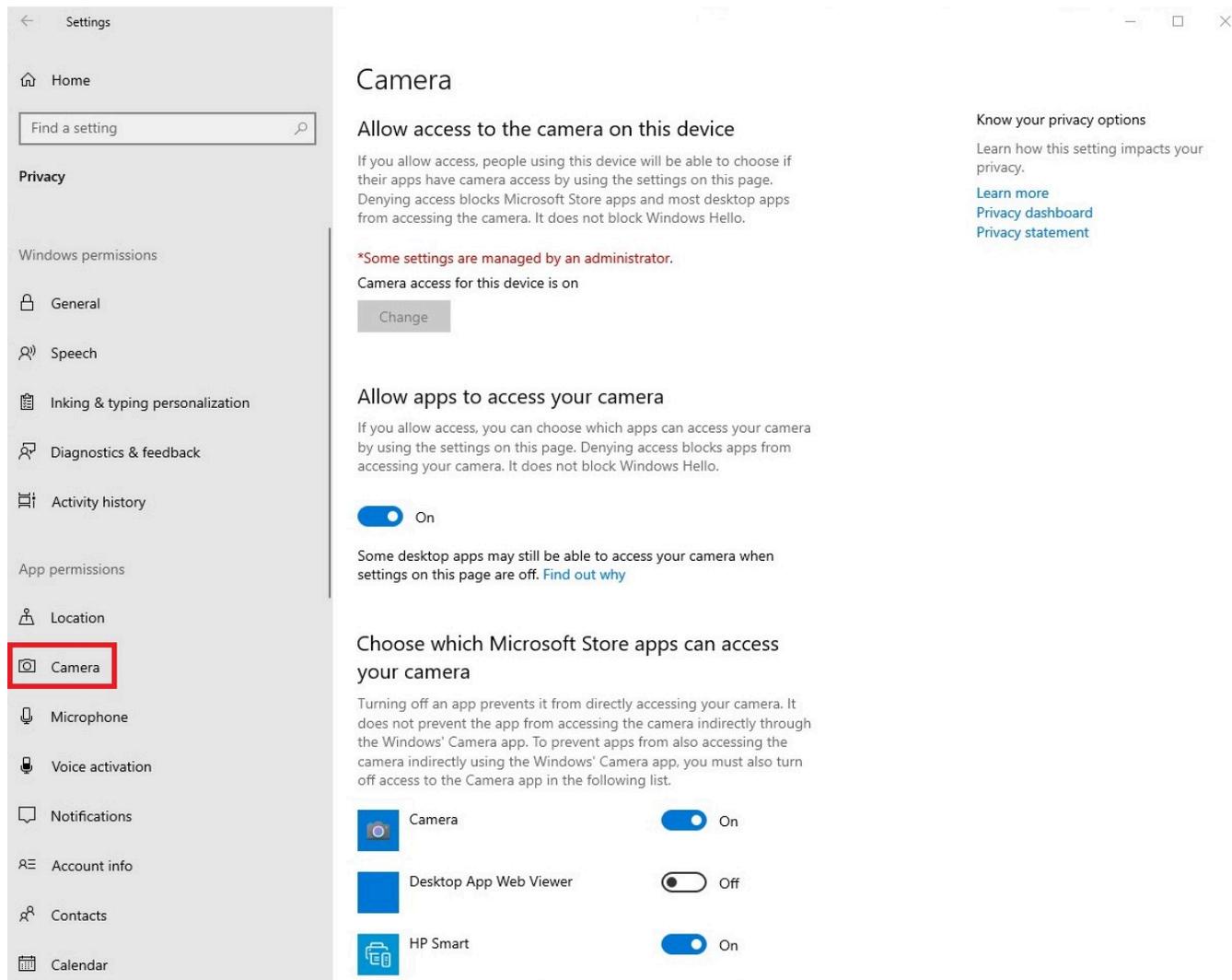
Windows でのアクセス許可の有効化

1. 設定アイコンを選択します。
2. 設定メニューからプライバシーアイコンを選択します。



3. 次のいずれかを行います。

- 左側のリストから [カメラ] を選択し、[アプリにカメラへのアクセスを許可する] を [オン] に変更します。



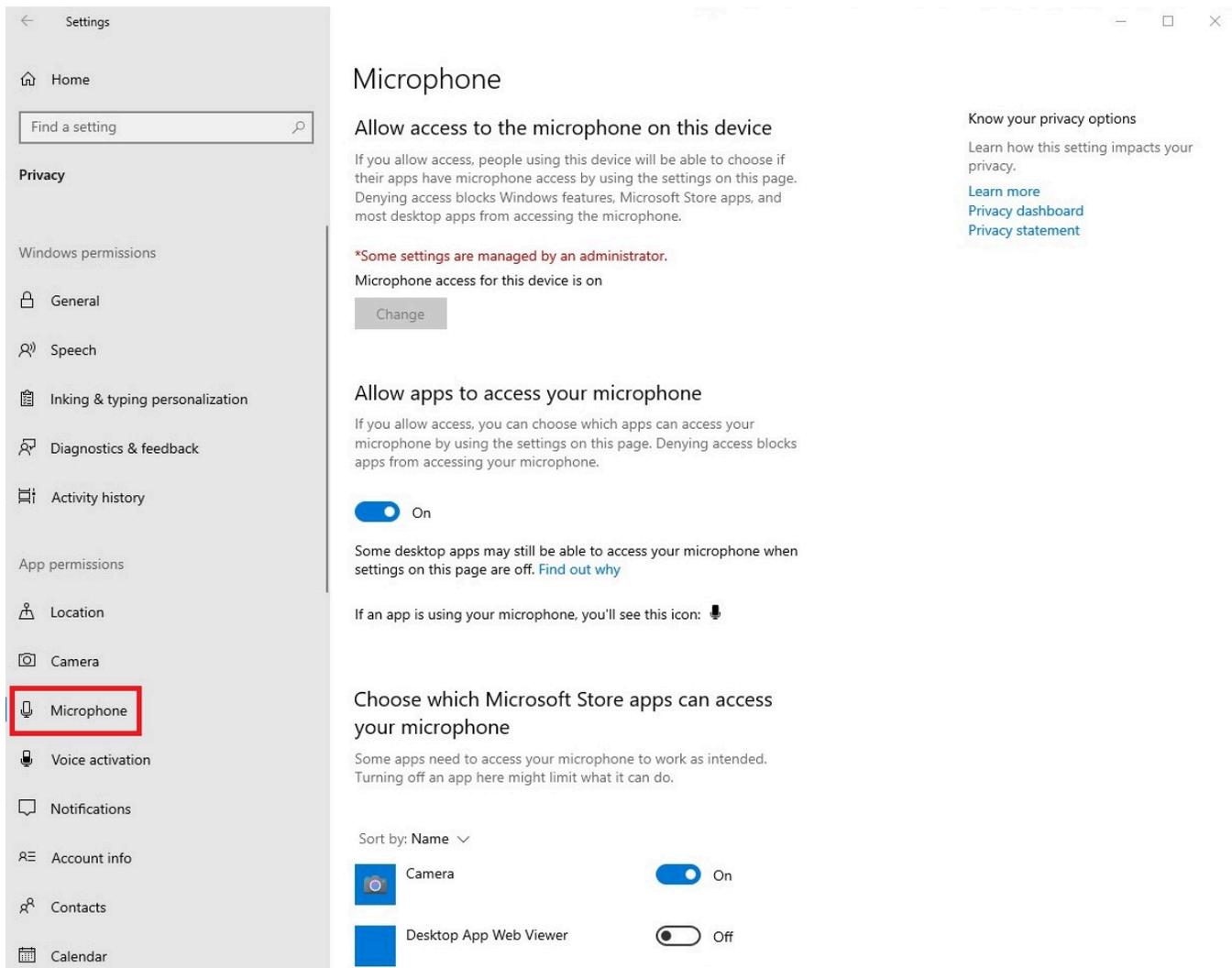
The screenshot shows the Windows Settings application. On the left, the 'Camera' option is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Camera' and contains the following sections:

- Allow access to the camera on this device**: A toggle switch is currently turned off. Text below explains that allowing access lets users choose if apps have camera access. Denying access blocks Microsoft Store apps and most desktop apps. A note states: **Some settings are managed by an administrator.* A 'Change' button is visible.
- Allow apps to access your camera**: A toggle switch is turned on. Text explains that allowing access lets users choose which apps can access the camera. A note states: *Some desktop apps may still be able to access your camera when settings on this page are off. Find out why*
- Choose which Microsoft Store apps can access your camera**: A list of apps with their camera access status:

App	Status
Camera	On
Desktop App Web Viewer	Off
HP Smart	On

On the right side, there is a 'Know your privacy options' section with links for 'Learn more', 'Privacy dashboard', and 'Privacy statement'.

- 左側のリストから [マイク] を選択し、[アプリにカメラへのアクセスを許可する] を [オン] に変更します。



Windows でアクセス許可を有効にしたら、ウェブブラウザからアクセス許可を有効にする必要があります。[「ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化」](#)を参照してください。

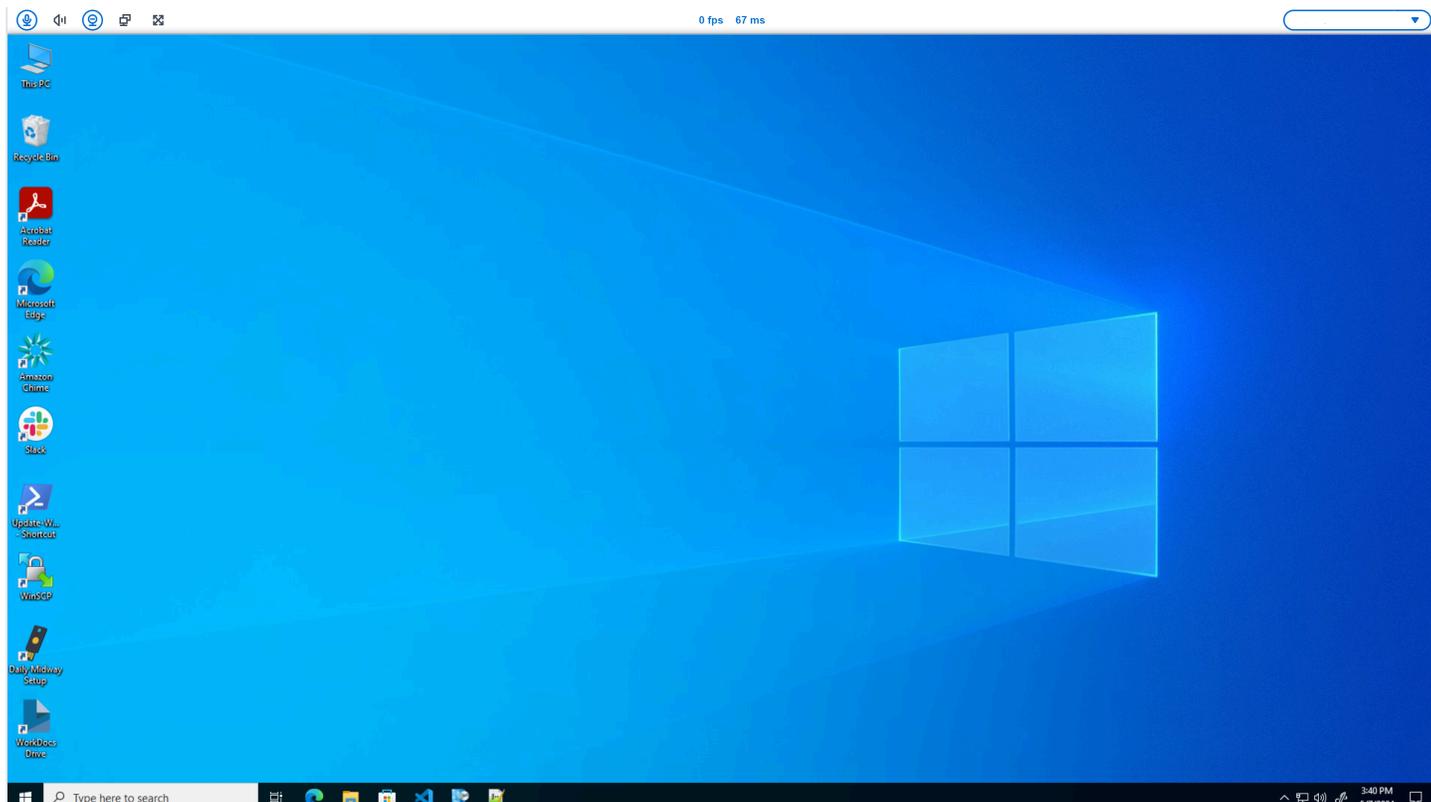
Amazon でのアクセス許可の有効化 WorkSpaces

WorkSpaces シンククライアントでは、ウェブカメラとマイクのアクセス許可が自動的に有効になります。

仮想デスクトップツールバーには、マイクとウェブカメラのステータスが表示されます。

WorkSpaces シンククライアントは、[「周辺機器」](#)セクションに記載されているウェブカメラやヘッドセットと互換性があります。

ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。



マイクとウェブカメラのアイコンは、そのステータスを示します。

アイコン	ステータス	
	カメラがオンになっていません。	
	カメラはオンになっていますが、ストリーミングされていません。	
	カメラがオンになっていて、ストリーミング中です。	
	マイクはオンになっていません。	

アイコン	ステータス	
	マイクがオンになっています。	

Amazon で周辺機器が有効になっていることを確認したら WorkSpaces、ウェブブラウザから周辺機器を有効にする必要があります。[「ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化」](#)を参照してください。

AppStream 2.0 および Amazon WorkSpaces Secure Browser でのアクセス許可の有効化

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、オーディオデバイスとビジュアルデバイスに接続できません。仮想デスクトップセッション内でマイクとウェブカメラを使用するには、Windows 設定、仮想デスクトップツールバー、ブラウザ設定でアクセス許可を有効にする必要があります。

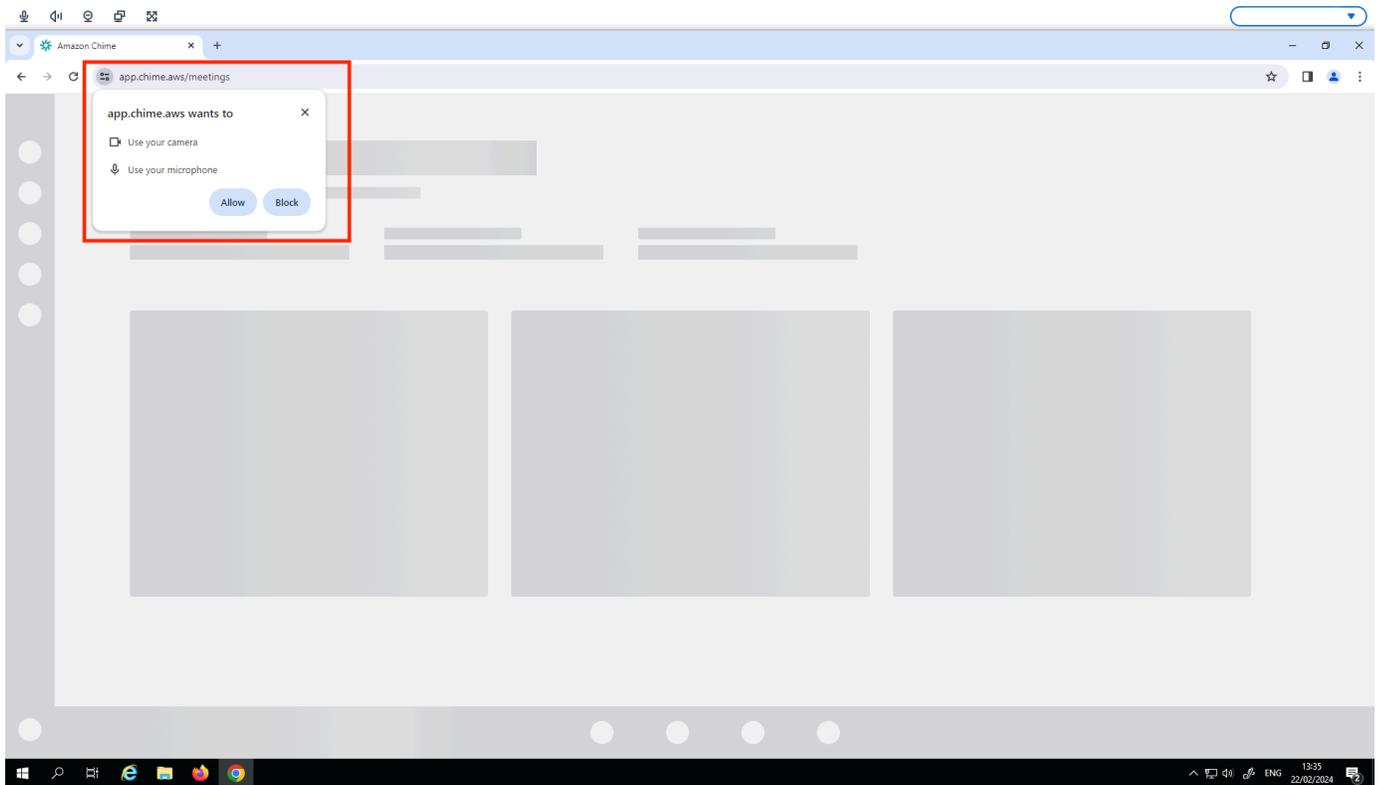
ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。

1. 設定 に移動します。
2. 周辺機器 を選択します。
3. ウェブカメラとマイクが一覧表示されていることを確認します。

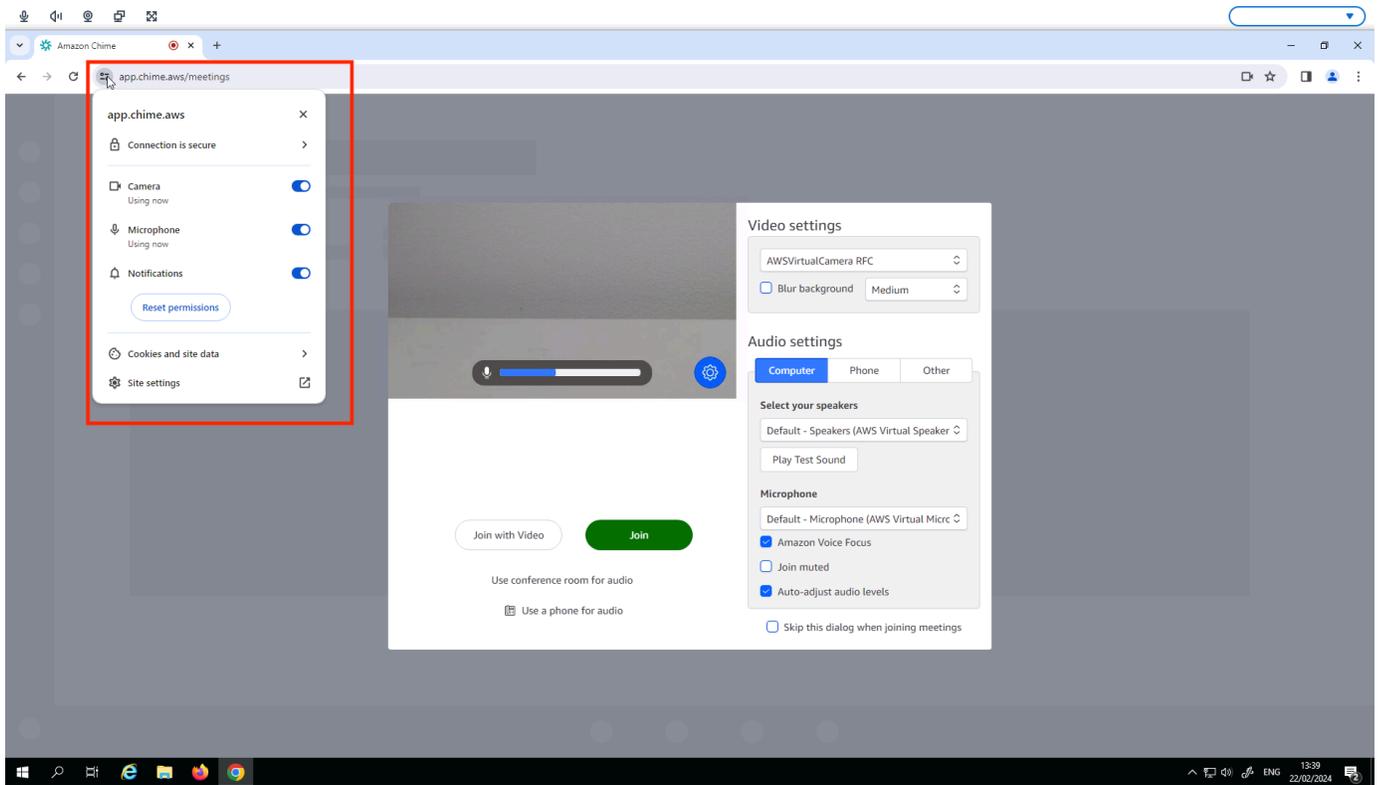
AppStream 2.0 または Amazon WorkSpaces Secure Browser のいずれかで周辺機器が有効になっていることを確認したら、ウェブブラウザから周辺機器を有効にする必要があります。[「ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化」](#)を参照してください。

ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化

1. マイクとウェブカメラのアクセス許可を求めるポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップが表示されない場合は、アドレスバーの横にあるアイコンを選択できます。



2. ポップアップウィンドウで許可を選択します。
3. ブラウザの検索バーの設定アイコンを選択し、マイクとウェブカメラが有効になっていることを確認します。



Note

ウェブサイトでウェブカメラとマイクを使用するたびに、上記のステップを繰り返す必要がある場合があります。

WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更

WorkSpaces シンククライアントには、ボリュームやマイクのミュートなど、いくつかのサウンド設定があります。

仮想デスクトップからボリュームレベルを設定する

周辺機器をセットアップしたら、VDI ツールバーまたはデバイスでボリューム設定を制御できます。詳細については、[WorkSpaces 「シンククライアントのサウンド設定の変更」](#)を参照してください。

VDI ツールバーの詳細については、以下を参照してください。

- Amazon WorkSpaces Secure Browser については、[WorkSpaces 「Secure Browser Access」](#)を参照してください。

- AppStream 2.0 については、[「ウェブブラウザアクセス」](#)を参照してください。
- Amazon WorkSpaces Web については、[「ツールバーの使用」](#)を参照してください。

ボリュームを設定した後は、Amazon WorkSpaces シンククライアントを再起動しても、そのレベルのままになります。

WorkSpaces シンククライアントのデフォルトボリュームの変更

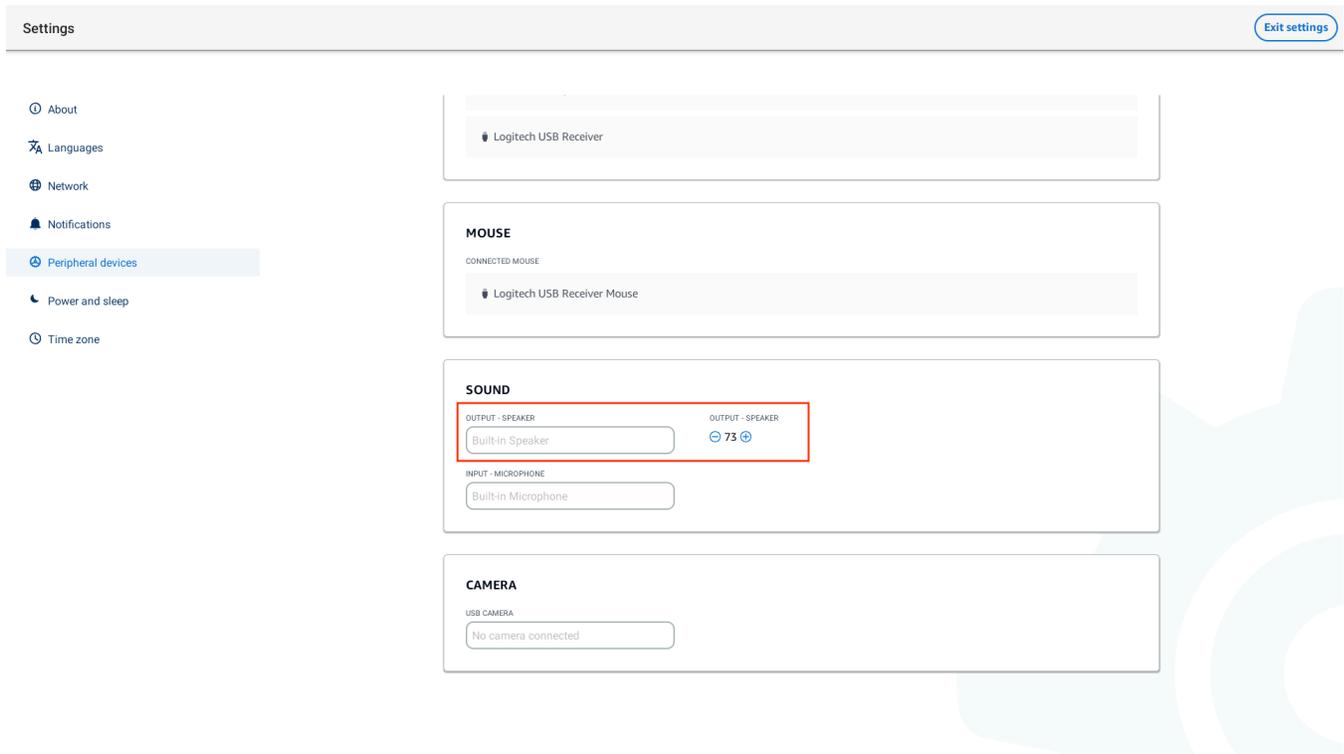
WorkSpaces シンククライアントデバイスには、周辺機器に応じて 2 つのデフォルトのボリューム設定があります。

- WorkSpaces シンククライアントデバイスのデフォルトボリュームは 73 です。
- 接続されているヘッドセットのデフォルトボリュームは 40 です。

これらのデフォルトは変更できます。

デバイススピーカーのデフォルトボリューム (出力) の変更

1. ヘッドセットをデバイスから切断します。
2. 次のいずれかを実行して、ボリュームを変更します。
 - 設定、周辺機器、サウンドに移動し、+ アイコンと - アイコンを使用して出力スピーカーを変更します。



Note

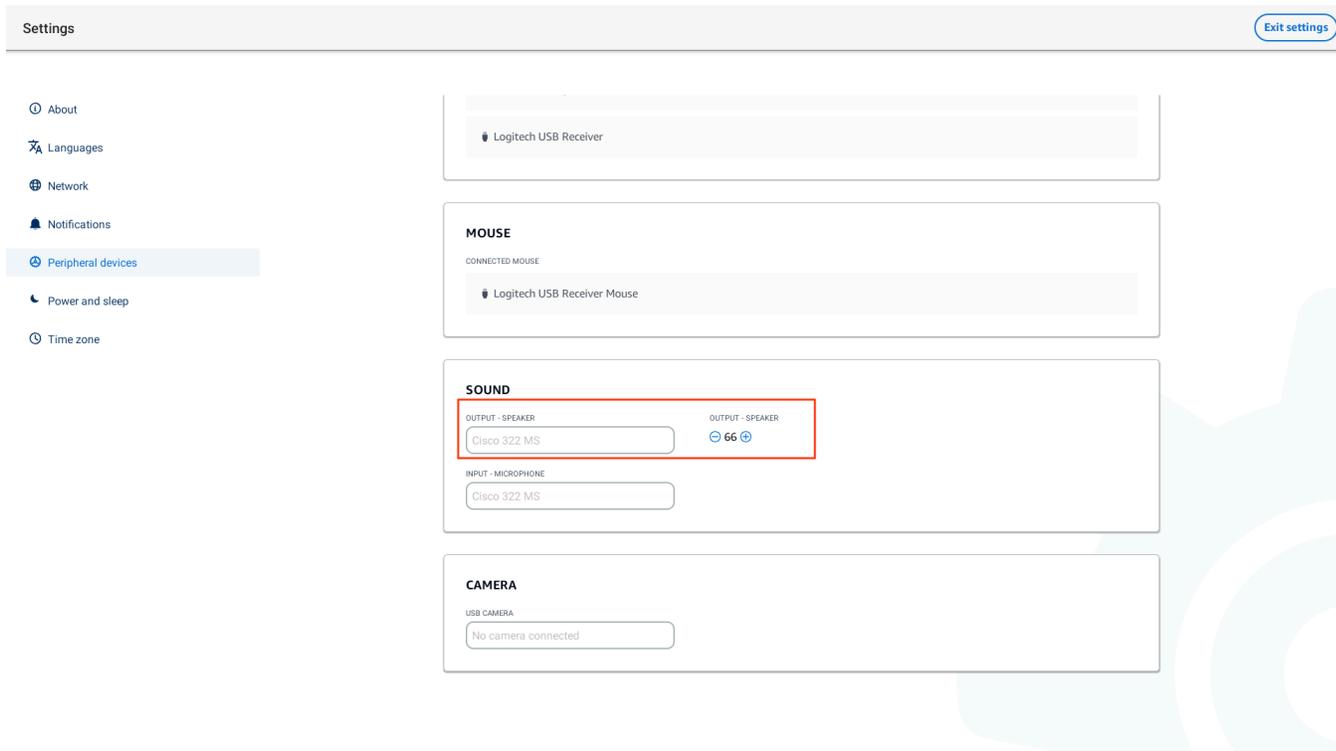
デバイスを再起動したりヘッドセットの音量を変更しても、内蔵スピーカーの音量は変わりません。

- デバイスの上部にある + および - ボリュームボタンを押して、ボリュームを増減します。



ヘッドセットのデフォルトボリューム (出力) の変更

1. ヘッドセットをデバイスに接続します。
2. 次の手順を実行してボリュームを変更します。
 - 設定、周辺機器、サウンドに移動し、+ アイコンと - アイコンを使用して出カスピーカーを変更します。



- デバイスの上部にある + および - ボリュームボタンを押して、ボリュームを増減します。

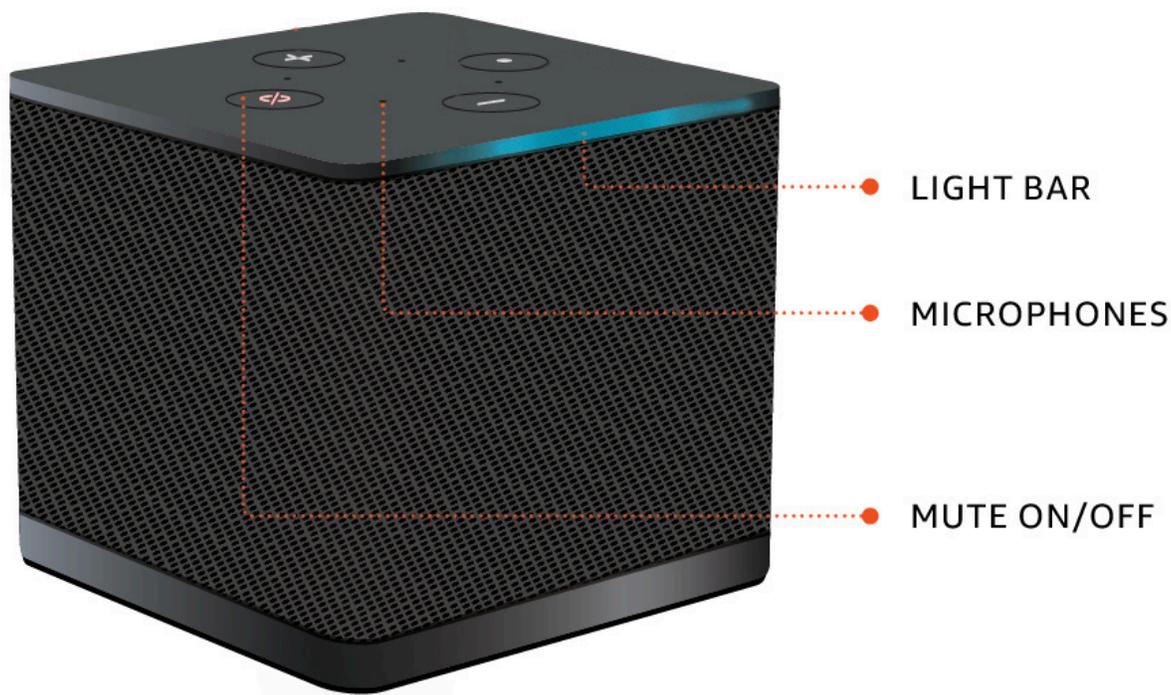


- ヘッドセットにボリュームボタンがアタッチされている場合は、それを使用できます。

WorkSpaces シンククライアントでのミュートの使用

ミュート関数を使用するには、次のいずれかを実行します。

- WorkSpaces シンククライアントに接続されているマイクと組み込みマイクをすべてミュートする場合は、デバイス上部のミュートボタンを使用します。ミュートがアクティブ化されると、ボタンのアイコンが赤く点灯します。



- デバイスマイクのみをミュートする場合は、マイク付きのヘッドセットをデバイスに接続します。デバイスマイクは自動的にミュートされます。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動

WorkSpaces シンククライアントを再起動または再起動する必要がある場合は、2つの方法でこれを行うことができます。

ツールバーを使用して再起動する

1. 円形矢印アイコンを選択するか、ツールバーでデバイスを再起動を選択します。



Restart device

2. [デバイスの再起動] ウィンドウで [はい] を選択します。

手動再起動

1. WorkSpaces シンククライアントの背面にある電源ケーブルを抜きます。
2. 10 秒待ってから、電源ケーブルを WorkSpaces シンククライアントに差し込みます。

スリープタイマーの設定

WorkSpaces シンククライアントには、指定した期間非アクティブのままの場合に表示をオフにするスリープ設定があります。このスリープ設定のデフォルトは 15 分間の非アクティブです。マウスの動きやキーボードのキーを押すと、スリープタイマーがリセットされます。

スリープタイマーの設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. 設定 に移動します。
2. 電源とスリープ を選択します。
3. ドロップダウンメニューから値を選択します。次のいずれかに変更できます。
 - 5 分
 - 15 分
 - 30 分
 - 45 分
 - 1 時間
 - 2 時間
 - なし

Settings

[Exit settings](#)

- About
- Languages
- Network
- Notifications
- Peripheral devices
- Power and sleep**
- Time zone

POWER AND SLEEP

TURN OFF THE DISPLAY AFTER

- 2 hours
- 5 minutes
- 15 minutes
- 30 minutes
- 45 minutes
- 1 hour
- 2 hours**
- Never

WorkSpaces シンククライアントの仕様

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様](#)
- [USB ハブの仕様](#)
- [サポートされている周辺機器](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様

[Size] (サイズ)	3.38 インチ x 3.38 インチ x 2.99 インチ (86 mm x 86 mm x 77 mm)
[Weight] (重量)	513 グラム (1.13 ポンド)
プロセッサ	Octa-core 4x 2.2 GHz 4x 2.0GHz
GPU	800 MHz
[Storage (ストレージ)]	16 GB 内蔵
メモリ	2 GB 内蔵
Wi-Fi	Wi-Fi 6E トライバンド。802.11a/b/g/n/ac/ax Wi-Fi ネットワークもサポートしています。Wi-Fi 6E をサポートするには、WorkSpaces シンククライアントが WPA3 暗号化を使用して Wi-Fi 6E ネットワークの 6 GHz バンドに接続されている必要があります。
イーサネット	サポート
ポート	HDMI 2.1 出力、電源、USB-A 2.0、イーサネットポート 10/100 Mbps

 **Note**
HDMI 2.1 入力ポートと IR 拡張ポートはサポートされていません。

出力表示解像度	1080p
データ接続要件	Wi-Fi または組み込みイーサネットポートとコンセントを介した高速インターネット接続。18 Gbps 以上の高速 HDMI ケーブル。Wi-Fi 6E をサポートするには Wi-Fi 6E ルーターが必要です。

USB ハブの仕様

ディスプレイポート	HDMI ポート x 1 (最大 4K @ 30 Hz、ミラーディスプレイまたは拡張ディスプレイをサポート)
USB ポート	4 x USB 3.0 ポート
電力	1 x DC ジャック (5 V @ 3 A、O.D. 3.5 mm x I.D. 1.35 mm コネクタコネクタをサポート)
サポート OS	Android

サポートされている周辺機器

WorkSpaces シンククライアントは、さまざまな周辺機器で使用できます。特定の周辺機器が WorkSpaces シンククライアントと互換性があるかどうかを確認するには、[以下を参照してください](#)。

キーボード

WorkSpaces シンククライアントでサポートされているすべてのキーボードのレイアウトは、[キーボードレイアウト](#) に記載されています。

- Amazon Basics ロープロファイル有線 USB キーボード (米国仕様レイアウト)
- Hyundai HY-MA75 有線 USB インターフェイスのマウスとキーボードのセット、米国レイアウト
- Dell Keyboard-KB212、米国レイアウト
- Dell Keyboard-KB216、米国レイアウト
- Logitech MK120 有線キーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Logitech K120 有線キーボード、米国レイアウト
- Logitech K120 キーボード、フランス語レイアウト

- Logitech K120 キーボード、スペイン語レイアウト
- Logitech K120 キーボード、英国のレイアウト
- Logitech K280e Pro Wired Business Keyboard、QWERTZ ドイツ語レイアウト
- Logitech K580 Wireless キーボード、米国レイアウト
- Logitech MK320 Wireless キーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Logitech MK330 Wireless キーボードとマウスコンボ、QWERTY イタリアレイアウト
- Logitech MK270 Wireless キーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Logitech MK270 Wireless Keyboard and マウスコンボ for Windows、QWERTZ ドイツ語レイアウト
- Logitech 署名 K650 Wireless キーボード、米国レイアウト
- HP ブラック KU-1156、米国レイアウト
- HP CS10 Wireless キーボードマウスコンボ、米国レイアウト

マウス

- Logitech B120 有線マウス
- Logitech B100 有線マウス
- Logitech M90 有線マウス
- HP 200 ワイヤレス光学式マウス

モニタリング

- Acer LCD Monitor KA2 シリーズ/KA272
- ThinkVision 27 インチモニター - P27h-20

ウェブカメラ

- Logitech C270 HD ウェブカメラ
- AUSDOM オートフォーカス 1080P ウェブカメラプライバシーカバー付き
- eMeet C950 1080P ウェブカメラ
- Cisco デスクカメラ CD-DSKCAM-C-US

ヘッドセット

- Jabra Evolve 20 UC 有線ヘッドセット
- Jabra Evolve 30 UC 優先ヘッドセット
- Logitech H390 有線ヘッドセット
- Sennheiser EPOS インパクト 60 有線ヘッドセット
- Cisco ヘッドセット 322 HS-W-322-C-USB
- Cisco ヘッドセット 532 CP-HS-W-532-USBA

Note

すべてのヘッドセットで、音量ボタンのみがサポートされます。その他のメディアボタンはサポートされていません。

USB ハブ

- Zhenyou EVT ハブ (USB-A) - ZYHB03

キーボード、マウス、ウェブカメラ、ヘッドセット、デュアルスクリーン拡張をサポートします。

- Anker 4 ポート USB 3.0 ハブ

キーボード、マウス、およびウェブカメラまたはヘッドセットをサポートします。

- Sabrent 4 ポート USB ハブ

キーボードとマウスのみをサポートします。

トラブルシューティング

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング](#)
- [WorkSpaces シンククライアントの既知の問題](#)
- [仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング

WorkSpaces シンククライアントデバイスに問題がある場合は、次の手順でヘルプを確認してください。

周辺機器は認識されません

WorkSpaces シンククライアントデバイスが使用している周辺機器を認識しない場合は、まずシンク WorkSpaces クライアントと互換性があることを確認します。互換性のある周辺機器のリストについては、「[サポート対象デバイス](#)」を参照してください。

周辺機器が WorkSpaces シンククライアントと互換性があり、それでもデバイスで認識されない場合は、次の操作を行います。

1. WorkSpaces シンククライアントデバイスをオフにします。
2. 周辺機器を切断します。
3. 周辺機器を再接続します。
4. USB ハブが、付属のハブ電源アダプターで電源に接続されていることを確認します。
5. USB ハブが WorkSpaces シンククライアントデバイスに接続されていることを確認します。
6. WorkSpaces シンククライアントデバイスをオンにします。
7. ツールバーの [設定] 歯車アイコンを選択し、[周辺機器] に移動して、周辺機器名を確認します。

WorkSpaces シンククライアントワークスペースにアクセスできない

WorkSpaces シンククライアントデバイスが仮想 にアクセスできない場合は WorkSpace、次の操作を行います。

1. デバイスのネットワーク設定に移動します。
2. デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。
3. 仮想サービスインターフェースのネットワークトラブルシューティングセクションを参照してください。
 - については WorkSpaces、[「問題のトラブルシューティング」](#)を参照してください。
[WorkSpaces](#)
 - WorkSpaces セキュアブラウザについては、[「トラブルシューティング」](#)を参照してください。
 - AppStream 2.0 の場合は、[「トラブルシューティング」](#)を参照してください。

ヘッドセットの音量が非常に小さいか、聞こえない

ヘッドセットの音量に問題がある場合は、次の手順を行ってください。

1. 画面の右側にあるツールバーを選択します。[設定] → [周辺機器] に移動します。
2. Audio セクションまでスクロールし、出力ボリュームを調整します。

Note

システムの再起動後、WorkSpaces Thin Client は接続された USB ヘッドセットのボリュームレベルをリセットします。

音声ビデオの電話会議中に音声がかきやかしくなる

WorkSpaces シンククライアントでオーディオの問題が発生した場合は、次のいずれかの手順を実行してください。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを確認する

1. オーディオ USB ヘッドセットが USB ハブに接続され、USB ハブがオンになっていることを確認します。
2. サポートされている周辺機器を確認して、お使いのデバイスがサポートされていることを確認してください。

VDI セッションのログイン画面を使用している場合

1. 画面の右上にある設定を選択します。
2. デバイス ID を探します。
3. 診断チェックを実行し、デバイスと高度なログ記録の両方が有効になっていることを確認します。

現在 VDI セッションに参加している場合

1. 画面の右側にあるツールバーに移動します。
2. 設定 → 周辺機器 → オーディオ を選択します。
3. USB ヘッドセットが一覧表示され、ボリュームが目的のレベルに設定されていることを確認します。
4. デバイスが Wi-Fi またはイーサネットに接続されており、への接続に問題がないことを確認します WorkSpaces。

現在 VDI セッションに参加していない場合

1. WorkSpaces ログインページで、画面の右上にある設定を選択します。
2. デバイス ID を探します。
3. 診断と高度なログ記録が有効になっていることを確認します。

WorkSpaces シンククライアントの既知の問題

WorkSpaces シンククライアントには以下の既知の問題があります。

VDI ログイン画面でリンクを選択した場合は、ログイン画面に戻る必要があります。

回避策：ロック/ロック解除ボタンを選択します。これにより VDI ログインが返され、2 番目のモニターはプライマリモニターをミラーリングします。

キーボードショートカットを使用すると、予期しない動作が発生する可能性があります。

回避策: この問題の回避策はありません。

一部の周辺機器は、デバイスの実行中に認識されない場合があります。

回避策：デバイスのプラグを抜き、再度接続するか、デバイスを再起動します。

設定からイーサネットネットワークの IP アドレスを表示することはできません。

回避策: この問題の回避策はありません。

VDI ツールバーの一部のメニューオプションは表示されますが、機能しません。

回避策: このリリースでは、これらの機能は有効になっていません。

サポートされているキーボードレイアウトが OOBЕ または 設定で見つからない。

回避策：ソフトウェアセット 2.2.0 以降を使用していることを確認します。[WorkSpaces シンククライアントソフトウェアリリースで最新のソフトウェアセット](#)を確認します。キーボードレイアウトがサポートされていないと Wi-Fi パスワードを入力できない場合は、イーサネット接続を使用することもできます。

デバイス設定でサポートされているキーボードレイアウトを選択できますが、仮想セッション内に特定のキーを入力することはできません。

回避策：セッション内の入力メソッドが対応する言語に設定されていることを確認します。例えば、イタリア語レイアウトキーボードを使用する場合は、セッション内で入力メソッドをイタリア語に設定します。次の図を参照してください。

Language

Windows display language

English (United States) ▼

Windows features like Settings and File Explorer will appear in this language.

Preferred languages

Apps and websites will appear in the first language in the list that they support.

+ Add a language

English (United States)	🇺🇸 🗨️ 📄 📁 🗑️
Chinese (Simplified, China)	🇨🇳 🗨️ 📄 📁 🗑️
Italian (Italy)	🇮🇹 🗨️ 📄 📁 🗑️

Help from the web

[Choosing language settings for your keyboard](#)

[Installing language pack for speech](#)

[Changing Microsoft Store region](#)

[Adding an input language](#)

 [Give feedback](#)



ツールバーを初めて選択すると、ツールバーが展開または折りたたまれません。

回避策：マウスポインタがプライマリモニターにあることを確認し、ツールバーの展開または折りたたみを再試行してください。ツールバーを展開するには、折りたたまれたツールバーの暗いエリアを選択します。ツールバーを折りたたむには、プライマリモニター上の任意の領域を選択します。

スリープ状態から目覚めると、WorkSpaces Thin Client デバイスはセッションを開始する前にキーボードとマウスのセットアップ画面を数秒間表示します。

回避策：キーボードとマウスの設定画面は自動的に消えます。画面が数秒後に残った場合は、デバイスのプラグを抜き、再度接続するか、[デバイスを再起動します](#)。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動時に、エンドユーザーはセッションを開始する前に、繰り返し準備中と更新の確認の移行画面が表示されます。

回避策：なし

WorkSpaces シンククライアントデバイスの更新は有効になっていません。

回避策：システム更新のたびにデバイスを再起動します。

ウェブカメラはでは有効になっておらず WorkSpaces、上部のツールバーのアイコンは灰色のままです。

回避方法:

1. ウェブカメラが WorkSpaces シンククライアントデバイスに正しく接続されていることを確認します。
2. WorkSpaces セッションが開始されてから 30 秒待ちます。
3. ウェブカメラが自動的に有効になっているかどうかを確認します。
4. まだ有効になっていない場合は、WorkSpaces シンククライアントデバイスを再起動してもう一度確認してください。

仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング

仮想デスクトップインターフェースに関する問題の解決方法については、VDI プロバイダーのドキュメントを参照してください。

- については WorkSpaces、[WorkSpaces 「問題のトラブルシューティング」](#) を参照してください。
- WorkSpaces セキュアブラウザについては、[「 のトラブルシューティング」](#) を参照してください。
- AppStream 2.0 の場合は、[「 のトラブルシューティング」](#) を参照してください。

『WorkSpaces シンククライアントユーザーガイド』のドキュメント履歴

次の表は、『WorkSpaces シンククライアントユーザーガイド』のドキュメントリリースをまとめたものです。

変更	説明	日付
<ul style="list-style-type: none">WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用	<ul style="list-style-type: none">デバイス設定は折りたたまれたツールバーに表示されるため、表示されている画面をより有効に活用できます。エンドユーザーは、操作がないときにデバイスがスリープ状態になるまでの待機時間を設定できるようになりました。エンドユーザーが設定した音量レベルは、デバイスを再起動しても維持されるようになりました。	2024 年 4 月 5 日
<ul style="list-style-type: none">キーボードレイアウト対応周辺機器	<ul style="list-style-type: none">キーボードレイアウトセクションが追加されました。ヨーロッパでサポートされているキーボードを追加し、サポートされているモニターを更新しました。	2024 年 2 月 12 日
初回リリース	初回リリース	2023 年 11 月 26 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。